

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00636 )

事務事業名称	オリンピック・パラリンピックの推進				款	03	項	01	目	01	事業	018	整理番号	071
現担当課名	文化・交流課		係名	オリンピック・パラリンピック			連絡先電話番号	3774		昨年度整理番号	071			
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり								予算事業区分	臨時事業				
事業開始	平成26年度	実行計画事業	目標	05	施策	29	計画事業	05	主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )					
令和 2年度担当課名	文化・交流課								事業評価区分	一般				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区民	根拠法令等	( 1 ) 杉並区2020東京オリンピック・パラリンピック庁内連絡調整会議設置要綱 ( 2 ) 杉並区における東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた懇談会運営要綱
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、スポーツの振興、障害者の理解促進等を通して、地域の活性化、有益な遺産 ( レガシー ) を創出するにぎわいのあるまちづくりを推進していく。	活動指標	指標名 ( 1 ) 区民懇談会の開催 指標名 ( 2 ) オリパラ関連事業の開催
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けた庁内の関連事業を推進する。 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた区民の気運醸成を図る事業を実施する。 杉並区における東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた懇談会を運営する。	指標説明	成果指標 指標名 ( 1 ) 区が実施する各種オリンピック・パラリンピック関連イベントへの参加者数 指標名 ( 2 )
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 回	4	3	2	3	2	2	66.7	92.7	
活動指標 ( 2 )	2	17	23	23	21	23	11	109.5		
成果指標 ( 1 )	3 人	17,772	17,000	18,419	10,000	300,496	200,000	5.0		
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	10,243	13,599	12,337	18,934	17,561	47,508	特記事項		
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
( 内 ) 委託費	7 千円	4,741	6,165	6,031	11,680	11,466	25,814			
職員数	常勤職員数 ( 再任用含 )	8 人	2.70	2.50	2.80	4.50	5.30	5.00		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 ( 再任用含 )	10 千円	22,750	21,065	24,410	39,231	45,066	42,515		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	32,993	34,664	36,747	58,165	62,627	90,023			
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	8,248,250	11,554,667	18,373,500	19,388,333	31,313,500	45,011,500			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	3,070	3,250	6,329	8,530	5,775	14,420		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	4,544	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	3,070	3,250	6,329	8,530	10,319	14,420		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	29,923	31,414	30,418	49,635	52,308	75,603			
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 071

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	オリンピック・パラリンピック普及啓発事業の実施	23	事業	4,702
	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた懇談会の開催	2	回	28
	オリンピック・パラリンピック事前キャンプの誘致			10,424
	ホームステイ・ホームビジット支援事業の実施			2,407
	その他（ ）			
事業実績	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が1年延期となった中、民間施設やオンラインを活用しつつ23の普及啓発事業を実施しました。また、3期目となった区民懇談会は、いずれも書面開催となりましたが、各委員が中心となり、懇談会が掲げた大会遺産の実現に向け活動を継続しています。事前キャンプの誘致においては、区内小中学生がイタリア・ウズベキスタン・パキスタンの3か国とオンライン等を活用した交流を行うとともに、ホームステイ・ホームビジット支援事業では、交流自治体等と、旧杉並第四小学校を活用した交流事業の日程調整等に取り組みました。</p>			

## 令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、大会の理解促進や気運醸成に取り組む中で、スポーツの振興にとどまらず、文化プログラムや多様なイベント事業等に取り組むため、平成28年度から区長部局にオリンピック・パラリンピック連携推進担当の部門を設置しています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、区が取り組んだ3つの大会遺産（レガシー）、杉並区オリンピック聖火リレー、ボランティア活動の参加促進、事前キャンプをきっかけとした3か国とのホストタウン交流について、その成果を検証し、適切な部署に事業移管するとともに、新たな事業として育てていきます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>普及啓発事業では、日本フィルハーモニー交響楽団と連携した杉並応援曲の創作、オンライン上の美術館「Suginami Web Museum」の開設など23の事業を実施した結果、30万人を超える方々の参加がありました。また、懇談会では、すぎなみフェスタにおけるクリケットの体験実施や、新たな杉並のお土産「スギパン」の創作に着手するとともに、事前キャンプの誘致では、区内小中学生から選手に向け応援メッセージを送るなど、オンラインを活用した交流におよそ500人の参加がありました。さらに、ホームステイ・ホームビジット支援事業においては、ホストファミリーの募集とともに、交流自治体等との日程調整や大会チケットの確保に取り組みました。</p>
評価と課題	<p>感染症対策に万全を期した事業の実施が課題となる中、普及啓発事業では、ウェブを活用した美術館「SUGINAMI WEB MUSEUM」の開設など、23の事業を実施した結果、30万人を超える参加者がありました。区民懇談会においては、杉並ならではの土産物の創作や、事前キャンプに訪れる3か国選手へのおもてなしを目的とした応援団を立ち上げるなど、大会に向け準備を進めることができました。事前キャンプの誘致においては、区内小中学生およそ500人がイタリア・ウズベキスタン・パキスタンの選手等とオンライン等を活用して交流を行いました。ホームステイ・ホームビジット支援事業においては、1,000人を超える区民ボランティアの登録があり、このほか、交流自治体等と旧杉並第四小学校を活用したホームステイ事業の日程調整等を図りました。</p>

## 令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	その他・対象外
	II 事業の改善の方向性	実施主体の見直し・対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>区が掲げた大会遺産（レガシー）である杉並区オリンピック聖火リレーの実施、ボランティア活動の参加促進、事前キャンプをきっかけとしたホストタウン交流を中心に、大会の成功に向け、区民の気運醸成と安全・安心の確保に努めます。</p> <p>杉並区における東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の取り組みを総括し、継続して実施していく事業、廃止すべき事業を精査したうえで、適切な部署への事業移管等を着実に進めていきます。</p>	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00532 )

事務事業名称	生涯スポーツ振興事業				款	03	項	06	目	01	事業	001	整理番号	115	
現担当課名	スポーツ振興課		係名	事業係		連絡先電話番号	1674		昨年度整理番号	113					
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり								予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和37年度	実行計画事業	目標	05	施策	29	計画事業	05	主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )						
令和 2年度担当課名	スポーツ振興課								事業評価区分	一般					

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	スポーツをする機会の少ない人及びスポーツ団体・競技者	根拠法令等	( 1 ) 社会教育法第2、3、5条、スポーツ基本法第22条、32条 ( 2 ) 杉並区スポーツ推進委員に関する規則、杉並区スポーツ栄誉顕彰要綱
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	生涯スポーツ振興事業を通して、スポーツ実施者の拡大を図ると共に、事業の運営等への参画・協働の仕組みを充実させ、様々な立場でスポーツに関わる人を増やすことで、人と人とのつながりを広げ、スポーツによる地域づくりを目指す。	活動指標	各種生涯スポーツ事業回数
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	第30期 ( 令和2~3年度 ) スポーツ推進委員 ( 21名 ) と、地域拠点活動や、綱引き大会、キンボールスポーツ交流大会などのレクリエーションスポーツの普及啓発を行う。 重度心身障害者スポーツ教室 ( わいわいスポーツ教室 ) をボランティア等と年6回開催する。 交流自治体中学生野球大会を杉並区で開催する。	指標名 ( 1 )	共催件数
		指標名 ( 2 )	共催件数
成果指標		指標名 ( 1 )	各種事業参加者数・スポーツ栄誉章被顕彰者数
		指標説明	生涯スポーツ振興事業の延べ参加者数
		指標名 ( 2 )	各種事業ボランティア等人数
指標説明		指標名 ( 1 )	生涯スポーツ振興事業8事業の実行委員・ボランティアの延べ人数
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度 実績	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度 計画	令和 2年度 対計画比 (%)	令和 2年度 予算執行率 (%)
			計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績			
活動指標 ( 1 )	1 回	33	39	34	38	3	27	7.9	55.4
活動指標 ( 2 )	2 件	35	35	33	35	23	35	65.7	
成果指標 ( 1 )	3 人	3,367	4,570	3,770	3,040	1,076	2,595	35.4	
成果指標 ( 2 )	4 人	708	685	601	545	159	310	29.2	
事業費	5 千円	23,507	27,645	25,026	30,593	16,950	31,659	特記事項	
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	新型コロナウイルス感染症の影響で、事業の中止や縮小を行ったため、予算執行率は低くなりました。	
( 内 ) 委託費	7 千円	1,383	1,628	1,604	1,688	866	1,726		
職員数	8 人	5.21	5.53	7.39	5.80	5.59	6.27		
上記以外の職員	9 人	1.50	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00		
人件費	10 千円	43,899	46,596	64,426	50,564	47,532	53,314		
上記以外の職員	11 千円	4,634	3,089	3,080	3,080	3,628	0		
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	72,040	77,330	92,532	84,237	68,110	84,973		
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	2,183,030	1,982,821	2,721,529	2,216,763	22,703,333	3,147,148		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	1,620	0	1,875	0	951		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	1,620	0	1,875	0	951	0	
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	70,420	77,330	90,657	84,237	67,159	84,973		
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 2年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 115

	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
主な取組	交流自治体中学生親善野球大会の開催	160	人	4,900
	中学校対抗駅伝の開催	355	人	7,480
	スポーツ推進委員	21	人	2,569
	体育団体活動の奨励	10	件	849
	その他 ( わいわいスポーツ教室、スポーツ栄誉章等 )			1,152
事業実績	<p>交流自治体中学生親善野球大会は、選抜中学生の試合のほか、参加できなかった自治体とのオンライン交流を行い、中学校対抗駅伝大会は、会場レイアウトやコースの工夫、選手等の健康チェック、YouTube配信など、感染症対策を徹底して実施しました。また、団体の活動への支援 ( 体育団体事業共催23件・後援77件 )、スポーツの功績を顕彰するスポーツ栄誉章授与 ( 19組103人 ) を行いました。なお、重度心身障害者対象のわいわいスポーツ教室、スポーツ推進委員が公園などの身近な場所で行う地域拠点活動は新型コロナウイルス感染症の影響により実施を見合わせました。</p>			

## 令和 2年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	<p>【区民意見調査2項目の5年前との比較】 健康状態について、「非常に健康である」「だいたい健康である」の割合 &lt; H27:87.5% R2:87.6% &gt; 取り組んでいる社会参加活動について、「スポーツ活動」をあげた人の割合 &lt; H27:24.9% R2:24.6% &gt;</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けながら、できる限りの対策を行い、各種の事業を行いました。その中で、中学校対抗駅伝大会に参加した中学生やその関係者から、実力を発表する貴重な場になったとの複数の感謝の意見がありました。</p>
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、区民のスポーツ活動は、実践している人としていない人の二極化が進むことが予想されます。スポーツ・運動は、日常的な健康づくりや人と人とのつながりを推進するために重要であることから、より一層、参加の機会を増やしていきます。また、地域スポーツ関係団体の活動においても、大会等の運営のノウハウが維持・継承できている団体と困難な団体の二極化が予想されます。すぎなみスポーツアカデミーにおいて、スポーツの重要性や指導者・運営者に必要な情報を提供するなどの支援を行います。さらに、各種事業への実行委員の参画やボランティアの参加を、さらに増やしていくことで、スポーツへの多様な関りを広げていきます。</p>
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	<p>成果指標 (1) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、スポーツ推進委員の地域拠点活動や、重度心身障害者スポーツ教室 ( わいわいスポーツ教室 ) など全く実施できなかった事業があり、各種事業参加者数等は1,076人と、目標値を大幅に下回りました。地域においては、スポーツ関係団体による大会等の中止が多く、区民のスポーツへの参加の機会が大きく減少しています。</p> <p>成果指標 (2) 交流自治体中学生親善野球大会、中学校対抗駅伝大会、オリンピック・パラリンピック普及啓発イベントに参画した各種事業の実行委員・ボランティア人数は159人となり、成果指標 (1) と同様に、目標値を大幅に下回りました。</p>
評価と課題	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の対策を講じつつ、スポーツによる青少年の健全育成や交流の推進といった事業目的を達成するため、事業の実施方法を工夫・変更することにより交流自治体中学生親善野球大会、中学校対抗駅伝大会などの各種事業を実施しました。令和3年度は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることを踏まえ、開催前の気運醸成に向けた取組とレガシーを視野に入れてオリンピック・パラリンピックへの理解促進を図る取組を進めつつ、スポーツに親しむ区民を増やしていきます。また、すぎなみスポーツアカデミー「地域スポーツwithコロナ」シリーズや、各種事業の実践を通して、新型コロナウイルス感染症の対策とスポーツ実践を両立させる知識とノウハウを蓄積し、コロナ禍におけるスポーツ活動に役立てていきます。</p>

## 令和 4年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	<p>交流自治体中学生親善野球大会、中学校対抗駅伝大会は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して開催します。スポーツ推進委員の地域拠点活動や、重度心身障害者スポーツ教室 ( わいわいスポーツ教室 ) は、昨年度全く実施できなかったため、動画の配信も含め、工夫しながら可能な限り実施します。スポーツ推進委員は、着実に増員を行っており、さらに計画的な周知活動と、働く世代が活動しやすい体制を整え、区民の自主的・継続的な地域スポーツ活動を推進します。</p> <p>また、臨時事業である次世代トップアスリートの育成事業 ( チャレンジ・アスリート ) については、令和4年度以降は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーとして、本事業の一環として位置づけ、継続する予定であるため、事業コストは増加します。</p>	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00533 )

事務事業名称	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団への助成				款	03	項	06	目	01	事業	002	整理番号	116	
現担当課名	スポーツ振興課		係名	施設管理係		連絡先電話番号	1676		昨年度整理番号	114					
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成 5年度														
令和 2年度担当課名	スポーツ振興課								事業評価区分	一般					

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団	根拠法令等	( 1 ) 社会教育法第3、5条 ( 2 ) スポーツ基本法第34条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団が、その設立目的であるスポーツ振興に関する事業を活発に行うことができるよう、補助金を支出し、財団の安定的な運営に役立てる。	活動指標	教室参加者数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団が行う「各種スポーツ教室・講座及び各種大会の運営に関する事業」、「スポーツ関係団体の育成・支援及び指導者の養成事業」、「スポーツ振興のための普及啓発事業」等に必要経費を助成する。	指標名 ( 1 )	教室事業開催数
		指標名 ( 2 )	
		成果指標	運動・スポーツをしていない人の割合
		指標名 ( 1 )	区民意向調査による
		指標名 ( 2 )	利用者満足度
		指標説明	利用者満足度調査

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 人	66,060	80,000	58,851	80,000	27,275	80,000	34.1	84.3
活動指標 ( 2 )	2 種目	348	338	351	334	280	330	83.8	
成果指標 ( 1 )	3 %	24.9	21	17.0	16	16.8	15	105.0	
成果指標 ( 2 )	4 %	82.0	85	82.5	85	83.8	85	98.6	
事業費	5 千円	87,805	89,564	85,054	87,264	73,545	96,935	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	新型コロナウイルス感染症の永享により、事業の中止・縮小があったため、予算執行率が低くなりました。	
(内) 委託費	7 千円	0	0	0	0	0	0		
職員数	8 人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.63	0.50		
上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	10 千円	2,528	2,528	2,615	2,615	5,357	4,252		
上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	90,333	92,092	87,669	89,879	78,902	101,187		
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	1,367	1,151	1,490	1,123	2,893	1,265		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	90,333	92,092	87,669	89,879	78,902	101,187		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 2年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 116

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	運営等補助	1	団体	73,545
	その他 ( )			
事業実績	<p>公益財団法人杉並区スポーツ振興財団は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、スポーツ庁等のガイドラインに沿った感染症対策を行い、施設や事業の運営を行いました。また、スポーツ振興のための普及啓発事業では、新たにモニター参加によるZOOM等を活用したオンライン事業を実施したほか、体育館において教室講師による運動メニューを施設ブログでインターネット配信するなど、コロナ収束後の事業展開も見据えた取組を行いました。</p>			

## 令和 2年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情など)	<p>昭和61年10月から、任意団体の杉並区スポーツ振興会が体育施設の管理運営を受託していましたが、平成5年10月に法人化し、財団法人杉並区スポーツ振興財団として引続き体育施設の管理運営を行うとともに、より広範囲な区民のスポーツ活動を支援することになりました。</p> <p>平成18年度の指定管理者制度の導入により、同財団は7施設の指定管理を開始し、平成24年4月からは、より公益性を高めるため公益財団法人に移行しました。さらに、区のスポーツ推進計画の策定にあわせて「スポーツ推進プラン」を策定し、平成26年から、同財団が区のスポーツ推進計画の推進役・実施主体として、地域でのスポーツ振興事業を積極的に展開しています。</p> <p>平成29年度から令和3年度まで、体育施設4所、集会所1所の指定管理業務を行っています。</p>
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	<p>スポーツ振興財団は、令和3年度末で指定管理業務から撤退します。今後は、区と役割分担をしながら、地域スポーツにおける公益的な事業を中心に、地域に根ざした事業を展開することとしており、スポーツ振興課が行っている重度障害者対象の「わいわいスポーツ教室」などの事業移管等を計画的に進めていきます。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>令和元年度からの新型コロナウイルス感染症の影響で、4月~5月は施設休場や各種事業を中止し、6月以降、段階的に施設や事業を再開しました。そのため、施設利用者数や教室参加者数は目標に達しませんでした。感染症対策を講じたうえで、安心・安全な施設運営を図ることができました。</p> <p>利用者満足度については、83.8%と、目標値には1.2ポイント及ばないものの、引き続き高い評価を得ています。</p>
評価と課題	<p>同財団は、施設の管理・運営のほか、区からの移管事業や委託事業などの公益性の高い事業に取り組みました。令和2年度に行ったオンラインによる事業は、今後、施設に出向くことが難しい高齢者や障害者、妊婦、勤労者など幅広い区民を対象とした事業展開につなげていく取組として、引き続き展開していきます。</p> <p>区は、同財団と役割分担し連携しながら、スポーツを推進する環境づくりを進めるため、令和4年度以降の財団の運営や事業展開について、具体策の検討・準備を行っています。</p>

## 令和 4年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>令和3年度をもって指定管理業務から撤退することから、令和4年度以降の公益的事業の展開や組織体制、区からの移管事業の進め方等について検討していきます。</p>	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00534 )

事務事業名称	スポーツ推進計画				款	03	項	06	目	01	事業	003	整理番号	117	
現担当課名	スポーツ振興課		係名	施設管理係		連絡先電話番号	1676		昨年度整理番号	115					
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成24年度	実行計画事業	目標	05	施策	29	計画事業	01	主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )						
令和 2年度担当課名	スポーツ振興課								事業評価区分	一般					

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区民 スポーツ関係団体	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	スポーツ基本法第9条
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	スポーツ・運動が、区民により身近になることで健康維持に役立ち、さらに地域のつながり・交流に結び付くよう、スポーツ推進計画「健康スポーツライフ杉並プラン」を推進する。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	スポーツアカデミー参加者数  スポーツ始めキャンペーン参加延人数
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	スポーツ分野の人材育成プログラム「すぎなみスポーツアカデミー」では、従来の5講座のほか、修了者に実践の場を紹介する取組を推進する。日頃、スポーツ・運動を行っていない人に、スポーツに親しむ機会を提供する「スポーツ始めキャンペーン」を実施する。障害者スポーツの推進に向けた取組を行う。総合型地域スポーツクラブの設立・運営支援を行う。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	成人の週1回以上のスポーツ・運動実施率 区民意向調査による

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 人	297	350	212	300	0	0	0.0	72.3	
活動指標 ( 2 )	2 人	1,128	900	983	900	785	900	87.2		
成果指標 ( 1 )	3 %	42.9	47.5	58.0	47.5	60.6	50.0	127.6		
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	4,913	5,977	5,256	4,469	3,231	8,735	特記事項		
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の中止や縮小して実施したことにより、予算執行率が低くなりました。		
( 内 ) 委託費	7 千円	3,926	4,316	4,089	2,841	2,350	7,062			
職員数	8 人	1.10	0.90	1.01	1.00	1.10	1.30			
上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
人件費	10 千円	9,269	7,583	8,805	8,718	9,353	11,054			
上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0			
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	14,182	13,560	14,061	13,187	12,584	19,789			
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	47,751	38,743	66,325	43,957	0	0			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	158	0	0			0
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0			0
	都からの補助金等	16 千円	2,230	0	2,025	0	0			0
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	2,230	0	2,183	0	0	0		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	11,952	13,560	11,878	13,187	12,584	19,789			
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 2年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 117

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	すぎなみスポーツアカデミーの運営	4	講座	2,308
	スポーツ始めキャンペーンの実施	785	人	838
	スポーツライフ杉並プラン推進懇談会	1	回	64
	総合型地域スポーツクラブの支援			21
	その他 ( )			
事業実績	<p>各体育施設等において、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、すぎなみスポーツアカデミーやスポーツ始めキャンペーンなど、杉並区スポーツ推進計画に基づく様々な事業を実施しました。</p> <p>また、障害者スポーツの推進に向け、体育館の一般使用枠でこれまで実施していなかった障害者スポーツについて、令和3年度から新たに荻窪体育館で視覚障害者向けのサウンドテーブルテニスを追加することとし、そのための施設整備や関係団体との調整を行いました。</p>			

## 令和 2年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	<p>健康づくりや仲間づくり、スポーツ・運動を通じた絆のあるまちの実現に向けて、平成25年度に、スポーツ基本法に基づく地方スポーツ推進計画となる「健康スポーツライフ杉並プラン」を策定し、現在、平成30年度～令和3年度までの計画に基づいた取組を行っています。令和2年から新型コロナウイルス感染症対策による休場や利用制限なども行っており、施設運営は厳しい状況です。今後、令和4年度からの取組について、これまでの成果と課題、区民のスポーツ・運動の実態、新型コロナウイルス感染症の影響などスポーツを取り巻く社会状況の変化等を踏まえ、計画改定を行います。</p> <p>利用者等からは、地域のスポーツを行う場の拡充や障害があってもなくても参加できる事業や施設の周知や施設の工夫などの要望が寄せられています。</p>
事業の今後 ( 3～5年 ) の予測と方向性	<p>新型コロナウイルス感染症の影響は長期間にわたり、施設の利用や地域のスポーツ団体の活動が制限される状況が続くことが予想されます。こうした状況で、オンラインによる事業も始まっており、今後の事業は、施設等で体験するものとICTを活用したものと両面で展開していく必要があります。その中で、障害者、子ども、女性、高齢者など、様々な人たちがスポーツ・運動に親しめるような取組を進めていきます。特に、障害者スポーツについては、教室の拡充や施設の改善のほか、地域で障害者の参加を支援する仕組みづくりに取り組みます。</p>
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年に大きく伸びた区民のスポーツ実施率は引き続き高くなっています。一方で、団体活動など、仲間が集まって行う活動が難しい状況となっています。コロナ禍で健康のためにスポーツ・運動を始めた人が、コロナ収束後も継続するように働きかけ、さらに、仲間づくりにいかにつないでいくかが課題となります。</p> <p>地域スポーツに携わる方の学びの場であるスポーツアカデミーでは、一部講座は中止しましたが、新型コロナ感染症対策講座やオンデマンド形式の講座を行い、多くの方が参加しました。スポーツ始めキャンペーンは、事業規模を縮小しての実施となり、参加者も例年より減少しました。</p>
評価と課題	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業の中止や施設の休館・休場、感染防止のための利用制限等により、施設での区民のスポーツ・運動の機会は減少しましたが、新型コロナウイルス対策としてオンライン参加の事業を実施するなどの新たな取組を始めました。施設の改修については、障害当事者や支援者からの意見を踏まえた取組を進め、特に、荻窪体育館では、令和3年度からサウンドテーブルテニスを一般利用の種目として導入するために、音声誘導装置の設置などを行いました。令和3年度は、引き続き、感染症対策に力を入れながら、障害の有無に関わらずスポーツや運動に親しめる環境づくりや、スポーツを安心・安全に行っていくための施設整備を進めるとともに、杉並区スポーツ推進計画の改定に向けて取り組みます。</p>

## 令和 4年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	縮小
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	<p>令和3年度予算は、計画改定に向けた区民5,000人を対象とする「区民のスポーツ・運動に関するアンケート調査」を行うため、例年より増額となりましたが、令和4年度の事業コストは、ほぼ例年通りの額となる予定です。</p>	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00670 )

事務事業名称	次世代トップアスリートの育成			款	03	項	06	目	01	事業	004	整理番号	118
現担当課名	スポーツ振興課		係名	事業係			連絡先電話番号	1674		昨年度整理番号	116		
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり							予算事業区分	臨時事業				
事業開始	平成26年度												
令和 2年度担当課名	スポーツ振興課							事業評価区分	一般				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	小学生、中学生及び高校生	根拠法令等	( 1 ) ( 2 )	杉並区次世代トップアスリート育成・支援検討会設置要領
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、次世代のトップアスリートを目指す青少年等を地域ぐるみで育成・支援することで、オリンピック・パラリンピック競技大会への気運を高め、地域を活性化するとともに、青少年の健全育成を図る。	活動指標	指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	チャレンジアスリート開催回数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	オリンピック選手による実技指導、パラリンピック種目体験、スポーツ関係職場見学などを通じて、スポーツ、オリンピック・パラリンピックを総合的に学ぶ「育成プログラムによる環境づくり(チャレンジ・アスリート)」を開催する。	成果指標	指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	チャレンジ・アスリート参加者数

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 回	4	4	4	4	3	4	75.0	79.0
活動指標 ( 2 )	2								
成果指標 ( 1 )	3 人	151	150	131	120	99	150	82.5	
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	3,324	4,000	3,507	3,200	2,527	3,800	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	予算執行率79.0%は、新型コロナウイルス感染症の影響で、事業を縮小して実施したためです。	
(内) 委託費	7 千円	960	1,719	1,719	1,399	1,351	1,661		
職員数	8 人	0.42	0.61	0.71	0.50	0.62	0.59		
上記以外の職員	9 人	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	10 千円	3,539	5,140	6,190	4,359	5,272	5,017		
上記以外の職員	11 千円	1,545	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	8,408	9,140	9,697	7,559	7,799	8,817		
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	2,102,000	2,285,000	2,424,250	1,889,750	2,599,667	2,204,250		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	830	0	800	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	830	0	800	0	0	0	
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	7,578	9,140	8,897	7,559	7,799	8,817		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 118

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	チャレンジ・アスリートの実施		3	回
	実施報告書の作成	750	部	396
	その他（ ）			

事業実績

スポーツ、オリンピック・パラリンピックを総合的に学ぶ、子どもを対象とした「チャレンジ・アスリート事業」について、実技体験教室は、新型コロナウイルス感染症の影響により1回中止し、2回実施をしました。実施に当たっては、定員を減らして2部制にする、道具の共有を減らすなどの感染症対策を行いました。また、職場見学は、スポーツクラブインストラクターやスポーツ栄養士など4つのコースを行い、子どもたちにスポーツに関する仕事を知る機会を提供しました。

## 令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>平成25年9月に東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催が決定し、オリンピックに向けた選手育成・強化支援策について検討を始めました。平成26年度に次世代トップアスリート育成・支援検討会において、基礎自治体の役割はスポーツ・エリートの育成ではなく、誰もが参加可能な育成プログラムによる環境づくりを行うこと、将来的に国際大会等への出場支援を検討すること、次世代育成基金の更なる充実を視野に入れることを確認し、平成27年1月から事業化をしました。実技体験教室は、毎回多くの申込みがあり、新たな体験の機会になり良かったとの意見が全体として多いほか、職場見学は、将来なりたい職業だから参加した、将来に向けての準備ができたとの声がありました。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>多様な体験をすることで、より豊かな成長を期待される子どもたちが、新型コロナウイルス感染症の影響により多くの制約を受けたことから、多様な体験をすることの重要性が再認識されています。この事業は、東京2020大会の開催決定を機に創設し、この間、好評を得ながら子どもたちに多様な体験機会を提供してきました。大会終了後は、事業の趣旨を踏まえつつ、規模の縮小を図りますが、この事業での取組をレガシーとして継承し、より内容を充実させていく必要があります。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>活動指標(1)のチャレンジ・アスリートの参加者数は99人であり、そのうち、実技体験教室の参加者数は81人でした。実施に当たって、定員を減らして2部制にしたことにより、1回の教室の合計参加者数を増やすことができました（昨年度は3回で99人）。コロナ禍において、引き続き学校以外の場で子どもたちが参加できる多様な体験の機会を提供することが必要です。</p>
評価と課題	<p>「チャレンジ・アスリート事業」は、実技体験については、新たな講師の招へいや日頃なじみのない種目を取り入れるなど、職場見学を含めて、他自治体において類似事業の少ない企画として継続し、多様な体験や学びの機会の充実を図りました。コロナ禍において、子どもたちの体験機会が減少していることも踏まえた事業を実施しましたが、感染症の状況が改善されるまでは、令和2年度同様、実施方法を工夫しながら、子どもたちの状況に応じた取組を行います。</p>

## 令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	その他・対象外
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>東京2020大会開催決定を契機に始めた当事業は、令和4年度以降は、レガシーとして規定事業に位置づけ、生涯スポーツ振興事業の一環として、子どもたちとトップアスリートによる、多様なスポーツ体験の場を継続していきます。</p>	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00535 )

事務事業名称	体育施設の維持管理	款	03	項	06	目	02	事業	001	整理番号	119	
現担当課名	スポーツ振興課	係名	施設管理係				連絡先電話番号	1676	昨年度整理番号	117		
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり						予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和30年度							主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )				
令和 2年度担当課名	スポーツ振興課							事業評価区分	施設維持管理			

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	施設利用者 ( 区民、団体等 )	根拠法令等	( 1 )	スポーツ基本法第2条、12条
			( 2 )	杉並区体育施設等に関する条例
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	施設を常に良好な状態に保ち、すべての区民にスポーツ活動の場を提供する。	活動指標	指標名 ( 1 )	延べ利用者数
			指標説明	
			指標名 ( 2 )	
			指標説明	
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	運動場12か所、体育館6か所、プール5か所の維持管理を行う。	成果指標	指標名 ( 1 )	
			指標説明	
			指標名 ( 2 )	
			指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 人	1,473,149	1,570,000	1,439,137	1,570,000	1,023,254	1,200,000	65.2	94.6	
活動指標 ( 2 )	2									
成果指標 ( 1 )	3									
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	1,360,290	995,308	970,360	1,003,455	949,251	1,030,343	特記事項		
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	477,415	0	0	0	0	0			
( 内 ) 委託費	7 千円	1,278,476	896,233	890,991	902,573	873,831	954,406			
職員数	常勤職員数 ( 再任用含 )	8 人	6.10	5.73	6.72	5.70	7.50	6.00		
	上記以外の職員	9 人	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		
人件費	常勤職員分 ( 再任用含 )	10 千円	51,399	48,281	58,585	49,693	63,773	51,018		
	上記以外の職員	11 千円	1,545	0	0	0	0	3,628		
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	1,413,234	1,043,589	1,028,945	1,053,148	1,013,024	1,084,989			
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	635	665	715	671	990	904			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	11,751	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	24,000	0	9,963	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	24,000	0	21,714	0	0	0		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	1,389,234	1,043,589	1,007,231	1,053,148	1,013,024	1,084,989			
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 119

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	管理運営（指定管理者）		9	施設
管理業務委託		5	施設	165,148
	上井草スポーツセンター防災設備改修及びろ過装置除塵機等取替等工事			52,352
	杉並第十小学校温水プール顕熱交換器等オーバーホール工事			15,147
	その他（光熱水費、修繕、備品購入など）			87,466
事業実績	上井草スポーツセンター防災設備改修などの老朽化対策のほか、障害者スポーツの推進に向けた荻窪体育館の音声誘導装置の設置、暑さ対策として和田堀公園プール観客席日除け設置、新型コロナウイルス感染症対策として体育施設へのサーモグラフィ等の設置など、安心・安全に施設が利用できるよう取組を進めました。			

## 令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、4～5月の体育施設休館・休場後、6月から段階的に再開し、スポーツ庁等の感染症拡大予防ガイドラインを踏まえ、利用人数の制限や定期的な消毒など、感染症対策を徹底しました。</p> <p>また、今後は、設備の老朽化や安全面への対応が必要となることから、耐用年数などに留意しながら、計画的に改修・修繕を進めていきます。</p>

## 令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	老朽化した施設付帯設備について計画的に改修等を行うための予算を拡充する必要があります。	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00728 )

事務事業名称	オリンピック・パラリンピック教育の推進				款	07	項	01	目	03	事業	021	整理番号	495
現担当課名	済美教育センター		係名	教育指導係		連絡先電話番号	3311-0021			昨年度整理番号	493			
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり								予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成28年度	実行計画事業	目標	05	施策	29	計画事業	05	主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )					
令和 2年度担当課名	済美教育センター								事業評価区分	一般				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区立小・中学校、子供園、特別支援学校の児童、生徒、園児	根拠法令等	( 1 ) 令和 2年度オリンピック・パラリンピック教育推進事業実施要項 ( 2 ) 「東京都オリンピック・パラリンピック教育」実施方針
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催をまたとない重要な機会と捉え、園児・児童・生徒の良いところをさらに伸ばし、弱みを克服するための取組を推進することで、国際社会に貢献するなど、人生の糧となるようなレガシーを一人ひとりの心と体に残していくことを目的とする。	活動指標	各種オリンピック・パラリンピック教育事業実施校 各種オリンピック・パラリンピック教育事業を実施する区立小学校、中学校、特別支援学校、子供園の数
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	「東京都オリンピック・パラリンピック教育」実施方針を踏まえ、杉並区教育委員会で定めた「4つのテーマ」( 障害のある人への理解、スポーツ、文化、環境 ) と「4つのアクション」( 学ぶ ( 知る ) 、観る、する ( 体験・交流 ) 、支える ) を組み合わせ、教育課程に位置づけた全ての区立学校・子供園での取組を東京都からの委託金を活用し、支援を行うことで、オリンピック・パラリンピック教育の推進を図る。	指標説明	
		成果指標	
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 校	156	163	163	158	158	158	100.0	48.6
活動指標 ( 2 )	2								
成果指標 ( 1 )	3								
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	12,635	17,000	10,559	15,300	7,443	11,050	特記事項	
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	予算編成時点では、令和2年度の委託金額について、東京都から明示されていないが、平成31年度の実績を基に、1校・園当たり15万円で予算を計上しました。実際に令和 2年度に東京都から委託された金額は、1校・園当たり10万円であったため、予算執行率が48.5%となっています。	
( 内 ) 委託費	7 千円	1,613	1,530	1,150	1,450	641	1,200		
職員数	8 人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.37	0.50		
上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	10 千円	4,213	4,213	4,359	4,359	3,146	4,252		
上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	16,848	21,213	14,918	19,659	10,589	15,302		
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	108,000	130,141	91,521	124,424	67,019	96,848		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	12,635	17,000	10,555	13,950	7,433		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	12,635	17,000	10,555	13,950	7,433	0	
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	4,213	4,213	4,363	5,709	3,156	15,302		
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 2年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 495

	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
主な取組	小学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の推進	40	校	4,981
	中学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の推進	23	校	1,786
	子供園におけるオリンピック・パラリンピック教育の推進	6	園	576
	特別支援学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の推進	1	校	100
	その他 ( )			
事業実績	東京都からの委託金 ( 1校・園当たり10万円 ) を活用し、全学校・子供園が教育課程の中にオリンピック・パラリンピック教育を位置付け、オリンピック等のアスリート、スポーツ指導者との直接的な交流、パラリンピック競技体験や外国人との交流などを通して、ボランティアマインド、障害者理解、スポーツ志向、日本人としての自覚と誇り、豊かな国際感覚の5つの資質の育成に取り組みました。また、本教育のテーマの一つである「文化」についても、様々な文化に対する理解を深めるため、東京都から指定を受けた実施校において、芸術・文化の鑑賞や体験等の取組を行いました。			

## 令和 2年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	東京都からの1校・園当たりの委託金額は、平成28年度に30万円で開始し、平成29年度は25万円、平成30年度は20万円、令和元年度は15万円、令和2年度は10万円、令和3年度は5万円となり、予算規模は減少しています。 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、学校の教育活動を充実させる好機であり、体験的な活動や外部講師との連携による教育活動により教育の質の向上が期待できるとの声が寄せられています。
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を控え、引き続きオリンピック・パラリンピック教育を全学校・子供園で実施し、本大会に向けての機運の高まりや「学校2020レガシー」の構築に寄与するとともに、大会終了後も、これまでの取組の中から、学校の特色として長く続く活動について、引き続き支援していきます。
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	計画のとおり、全区立学校・子供園がオリンピック・パラリンピック推進事業を実施しました。( 教育推進事業、世界ともだちプロジェクト )。また、教育アワード校事業 ( 地域連携型 )、文化プログラム・学校連携事業 ( 地域連携型 )、夢・未来プロジェクトに決定した学校は、それぞれの事業に即した取組を行い、成果を他校に普及、啓発しています。
評価と課題	全学校・子供園でオリンピック・パラリンピック教育に積極的に取り組むことで、共生社会形成の担い手として必要な資質の育成を図っています。各学校・園において、新型コロナウイルス感染症への対策を行いつつ、実施方法を工夫して教育活動を展開したことにより、アスリート等との交流や体験等の機会を確保することができました。 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会以降も長く続けていく教育活動となるよう、令和4年度以降の各学校・園への支援について検討していきます。

## 令和 4年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	その他・対象外
	II 事業の改善の方向性	対象外
予算の方向性の理由・内容	東京都による事業実施期間は、令和3年度までとなっており、令和4年度以降は予算措置も終了となることが予測されますが、東京都の動向を注視しつつ、これまでの取組の中からレガシーとして継続する教育活動について、他の事業との組合せなどをより一層工夫し、支援していきます。	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00517 )

事務事業名称	社会教育委員	款	07	項	04	目	01	事業	001	整理番号	522
現担当課名	生涯学習推進課	係名	管理係			連絡先電話番号	1663		昨年度整理番号	526	
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり					予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成元年度										
令和 2年度担当課名	生涯学習推進課	事業評価区分	一般								

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	社会教育関係施設及び社会教育関係団体・指導者等区民	根拠法令等	( 1 ) 社会教育法第15～18条 ( 2 ) 杉並区社会教育委員の設置に関する条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	社会教育関係団体への補助金交付に対する意見を述べたり、諮問に応じた答申や、調査・研究をもとに提言などを教育委員会に対して行うことにより、社会教育活動の向上、活性化を図る。	活動指標	会議開催回数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験者等合計9名以内で構成し (任期2年)、社会教育の振興のための調査・研究などの活動を行い、必要な場合は教育委員会に対して答申や提言などを行う。	指標名 ( 1 )	延べ会議出席委員数
		指標名 ( 2 )	
		成果指標	NPO法人認証団体数
		指標名 ( 1 )	「社会教育の推進」と「学術・文化・芸術又はスポーツの振興」の分野に関わるNPO法人認証団体数
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 回	5	8	6	6	5	6	83.3	88.7
活動指標 ( 2 )	2 人	38	72	41	54	43	54	79.6	
成果指標 ( 1 )	3 団体	322	350	324	350	323	350	92.3	
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	763	1,284	911	934	828	1,046	特記事項 会議で視察を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で事業が中止となり、会議開催1回分の委員報酬が執行残となりました。	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0		
(内) 委託費	7 千円	256	373	312	282	279	356		
職員数	8 人	1.45	1.40	1.30	1.40	1.20	1.50		
上記以外の職員	9 人	0.80	0.80	0.80	0.80	0.70	0.80		
人件費	10 千円	12,218	11,796	11,333	12,205	10,204	12,755		
上記以外の職員	11 千円	2,471	2,471	2,464	2,464	2,540	2,902		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	15,452	15,551	14,708	15,603	13,572	16,703		
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	3,090,400	1,943,875	2,451,333	2,600,500	2,714,400	2,783,833		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	15,452	15,551	14,708	15,603	13,572	16,703		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 2年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 522

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	社会教育委員報酬の支出 (延べ人数)		45	人
	社会教育委員の会議録作成委託	11	時間	263
	資料等の郵送、消耗品の購入			36
	その他 ( )			
事業実績	<p>令和元年6月に発足した社会教育委員の任期後半においては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴いオンラインによる会議を導入して検討を重ねました。特に、新たな基本構想や教育振興基本計画の策定に向けた動きを踏まえつつ、これまでの協議を基に第16期社会教育委員の会議のまとめの作成に取り組みました。</p>			

## 令和 2年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情など)	<p>社会教育委員の会議は、平成2年度の制度発足以来、16期目を迎えました。これまで区民の生涯学習・社会教育を推進するため、環境の整備や社会教育関係団体等の活動支援などについて、区社会教育行政に提言や答申をしたり、「杉並区教育ビジョン2012・同推進計画」等における取組を踏まえ、社会教育分野に対する一定の方向性を示唆するなど、生涯学習社会の実現に役割を果たしてきました。</p> <p>社会教育活動に関わる区内NPO法人数 H15.3.31 104 R3.3.31 323</p>
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	<p>新たな基本構想や教育ビジョンと共に策定する総合計画や教育ビジョン推進計画に基づき、社会の変化を踏まえつつ、区民による多様な学習の機会や区民の学びを支援するためにかかわる区の取組を展開していきます。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>区内NPO法人認証団体のうち「社会教育の推進」に関与する団体数を成果指標としています。令和2年度は、目標値の90%強の実績を維持しました。</p> <p>こうした団体活動の実際と社会教育行政との接点を模索し、会議では、社会教育委員が独自に調査・研究し、提言等も行えるように各回の運営を工夫しています。特に、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンライン会議を導入したことにより実施回数を維持しました。</p>
評価と課題	<p>新型コロナウイルス感染症が生涯学習・社会教育に与える影響は大きく、事業の進捗状況や対応等の報告に対する意見を聞きながら進めました。また、「杉並区基本構想」や「杉並区教育ビジョン2012」に基づくこれまでのまとめを踏まえる必要があり、生涯学習・社会教育を取り巻く環境の変化に応じたこれからの区民の学び支援の検討につなげます。</p>

## 令和 4年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善) ・対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>令和3年6月の委嘱替えにより発足する新たな社会教育委員の会議では、基本構想審議会や教育振興基本計画審議会の答申に基づく生涯学習・社会教育に関する方向性や、新型コロナウイルス感染症への対応に配慮しつつ可能な生涯学習・社会教育の展開について、必要な意見を求めています。</p>	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00518 )

事務事業名称	生涯学習振興室の維持運営			款	07	項	04	目	01	事業	002	整理番号	523
現担当課名	生涯学習推進課		係名	管理係		連絡先電話番号	1662		昨年度整理番号	527			
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成 7年度												
令和 2年度担当課名	生涯学習推進課							事業評価区分	一般				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象 一般区民	根拠法令等 ( 1 ) 学校教育法第137条 ( 2 ) 杉並区立学校の開放に関する規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民及び団体等に小学校の余裕教室を有効活用した生涯学習振興室(ゆうゆうハウス)を設置することにより、生涯学習と社会教育活動の場を提供する。	活動指標 指標名 ( 1 ) 個人学習室利用者数 指標説明 指標名 ( 2 )
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段) 生涯学習振興室(愛称:ゆうゆうハウス)2所を運営する。(対象:個人) 生涯学習の場として個人学習室を設置する。 ・西田生涯学習振興室1室(42席)令和2年9月末閉館 ・阿南生涯学習振興室1室(36席)令和2年10月末閉館 新型コロナウイルス対策で、令和2年4、5月は休館。6月再開後は、西田22席、阿南18席で運営。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 個人学習室利用率 指標説明 個人学習室利用者数 ÷ 個人学習室席数 指標名 ( 2 ) 指標説明

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 人	21,350	26,300	15,451	14,200	4,392	0	30.9	81.3
活動指標 ( 2 )	2								
成果指標 ( 1 )	3 %	81	85	64	85	86	0	101.2	
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	18,548	30,592	24,831	11,212	9,114	0	特記事項	
(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	学習室は、西田が令和2年9月末閉館し、阿佐谷南が同10月末閉館しました。新型コロナウイルス感染症対策として、4.5月は両館休館し、6月以降は、西田22席、阿南18席に減らして運営しました。利用者総数は減りましたが、利用率は計画値を上回りました。休館したことにより、業務委託費等の運営経費などが執行残となりました。	
(内)委託費	7 千円	16,776	28,142	23,231	10,144	8,501	0		
職員数	8 人	0.40	0.40	0.40	0.40	0.30	0.00		
上記以外の職員	9 人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.10	0.00		
人件費	10 千円	3,370	3,370	3,487	3,487	2,551	0		
上記以外の職員	11 千円	618	618	616	616	363	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	22,536	34,580	28,934	15,315	12,028	0		
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	1,056	1,315	1,873	1,079	2,739	0		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 (12-18)	19 千円	22,536	34,580	28,934	15,315	12,028	0		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 523

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	ゆうゆうハウス2施設の運営業務委託	259	日	6,094
清掃業務委託	2	所	1,557	
施設閉鎖による不要物品廃棄委託	2	所	702	
光熱水費の支出	2	所	462	
その他（建物管理委託、通信費の支出）			299	

事業実績  
西田生涯学習振興室（42席）令和2年9月末閉館、阿佐谷南生涯学習振興室（36席）令和2年10月末閉館しました。新型コロナウイルス感染症対策から、令和2年4、5月は休館とし、6月再開後は、西田22席、阿南18席で運営しました。

## 令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>個人学習室利用率（個人学習室利用者数 / 個人学習室席数）                      （西田：H27 72.5%、H28 69.5%、H29 65.1%、H30 69.7%、R元 61.9%、R2 83.1%）                      （杉九：H27 85.7%、H28 89.1%、H29 97.5%、H30 94.5%、R元 67.9%）                      （阿南：R元 64.3%、R2 88.4%）                      * R元は、杉九は7月まで。阿南は8月からの数値です。                      * R2は、4、5月は休館。西田は9月末。阿南は10月末までの数値です。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	施設は令和2年度に閉鎖しました。
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	利用席数を、西田42席、阿南36席で計画（目標値）しましたが、緊急事態宣言により4、5月を休館にしたことに加えて、新型コロナウイルス感染症対策で席数を半分の西田22席、阿南18席としたことから、利用者数は大幅に減る結果となりました。ただし利用率は、夏休み期間を中心に多くの利用者があり、目標値を超える高い数値となりました。
評価と課題	生涯学習振興室（ゆうゆうハウス）は、中央図書館及び地域コミュニティ施設等に機能継承し、令和2年9月と10月に閉鎖しました。幅広い世代の利用者から、生涯学習の場として有効に利用されました。

## 令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	その他・対象外
	II 事業の改善の方向性	対象外
予算の方向性の理由・内容	西田生涯学習振興室は令和2年9月、阿佐谷南生涯学習振興室は令和2年10月で施設を閉鎖しました。	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00519 )

事務事業名称	社会教育の振興	款	07	項	04	目	01	事業	003	整理番号	524
現担当課名	生涯学習推進課	係名	管理係			連絡先電話番号	1662		昨年度整理番号	528	
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり					予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成 8年度										
令和 2年度担当課名	生涯学習推進課	事業評価区分	一般								

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	社会教育活動を行う個人及び団体	根拠法令等	( 1 ) 杉並区教育委員会後援等名義使用承認事務取扱要綱 ( 2 ) 杉並区生涯学習活動の指導者傷害保険取扱要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区民の生涯学習活動の活性化と、社会教育関係団体の活動を支援するとともに、区内の高等教育機関と行政や地域との連携協働を推進する。 次世代を担う子どもが、名寄市での自然交流体験を通して、健やかに成長することができるように支援する。	活動指標	生涯学習指導者傷害保険加入指導者数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	教育委員会後援等名義使用承認により社会教育関係団体の活動を支援する。 区と区内高等教育機関 (明治大学・高千穂大学・女子美術大学・東京立正短期大学・東京女子大学) との包括協定 (平成31年4月1日締結) に基づき連携協働を推進する。 生涯学習活動指導者傷害保険への加入促進により、団体指導者等の活動を支援する。 小学生名寄自然体験交流事業として、小学5・6年生25名を北海道名寄市に派遣 (2泊3日)する。	指標名 ( 1 )	生涯学習指導者傷害保険加入指導者数
		指標名 ( 2 )	大学連携協働推進協議会等開催回数
		成果指標	指導者傷害保険加入団体会員数
		指標名 ( 1 )	
		指標名 ( 2 )	後援等名義使用承認事業数
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 人	3,407	4,000	3,305	4,000	3,180	4,000	79.5	60.4
活動指標 ( 2 )	2 件	4	5	3	5	1	5	20.0	
成果指標 ( 1 )	3 人	58,162	70,000	57,174	70,000	57,683	70,000	82.4	
成果指標 ( 2 )	4 件	143	150	144	150	64	150	42.7	
事業費	5 千円	4,429	6,198	4,798	6,499	3,924	7,075	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	新型コロナウイルス感染症対策で、小学生名寄自然体験交流事業の規模を縮小して実施しました。夏休み情報カレンダーは、中止するイベントが多く、発行を中止しました。	
(内) 委託費	7 千円	1,898	2,547	2,094	3,727	2,362	3,821		
職員数	8 人	2.10	2.00	1.84	1.90	1.70	1.80		
上記以外の職員	9 人	0.80	0.80	0.80	0.90	1.00	0.80		
人件費	10 千円	17,695	16,852	16,041	16,564	14,455	15,305		
上記以外の職員	11 千円	2,471	2,471	2,464	2,772	3,628	2,902		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	24,595	25,521	23,303	25,835	22,007	25,282		
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	7,219	6,380	7,051	6,459	6,920	6,321		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	24,595	25,521	23,303	25,835	22,007	25,282		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 2年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 524

	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
主な取組	小学生名寄自然体験交流の実施	15	人	3,259
	生涯学習活動を行う指導者を対象とした傷害保険料の支出	3,180	人	534
	その他 ( 通知等の郵送・消耗品の購入 ほか )			131
事業実績	<p>小学生名寄自然体験交流事業は、新型コロナウイルス感染症対策で規模を縮小し、派遣児童を15名とし、全員PCR検査を行い派遣しました。また、後援名義使用承認については、事業計画書に感染症対策の記入を必須として受付しましたが、事業を中止する団体が多く、64件の申請に止まりました。大学連携協議会は、通常の大学運営ができない状態の中、オンラインで1回開催し、保健所から自殺対策事業の連携依頼を行いました。事業実施ができない状況です。夏休み情報カレンダーは、事業の中止が相次ぎ提供できる情報が少なく、発行を中止しました。</p>			

## 令和 2年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	<p>名寄自然体験交流事業を平成24年度より開始し、5,6年生25名を名寄市に派遣しています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策で15名に減らして派遣しました。</p> <p>生涯学習活動の指導者傷害保険契約人数 ( 稼動人数/日 ) H28: 78団体3,668人、H29: 79団体3,500人、H30: 76団体3,407人、R元: 74団体3,305人、R2: 69団体3,180人 )</p> <p>後援等名義使用承認件数 H28: 155件、H29: 158件、H30: 143件、R元: 144件、R2: 64件。</p> <p>大学連携「杉並区と区内高等教育機関との連携協働推進協議会」開催延回数 H28: 3回、H29: 3回、H30: 4回、R元: 3回、R2: 1回。</p>
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症により事業に影響が出ています。名寄自然体験交流事業は継続して事業を行います。安全対策のために実施方法を工夫していきます。</p> <p>指導者生涯保険や後援等名義使用承認は、区民の地域活動等が感染症蔓延以前の状態に戻るか予測が難しい状況です。しっかりと動向を把握して、適切に対応していきます。</p> <p>大学連携は、大学の状況や学生の生活・学習環境がどのように変化するかを各大学と情報を共有し、連携の方向性を確認していきます。</p>
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	<p>指導者傷害保険加入団体会員数や加入指導者数は、高齢化により団体や会員数の減少傾向がある中で、新型コロナウイルス感染症で活動を一時中止する団体もあり、加入者数が減少しました。</p> <p>後援等名義使用承認は、新型コロナウイルス感染症により事業を中止する団体が多いことから、目標値を大きく下回った数値となっています。</p> <p>大学連携は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各大学の機能・運営が正常化していないことから、協議会の開催をオンライン会議の1回に見合わせました。</p> <p>名寄自然体験交流事業は、派遣児童を15名と規模を縮小し、全員PCR検査を行うなど新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと行い実施しました。</p>
評価と課題	<p>新型コロナウイルス感染症は、様々な事業に影響を与え、活動指標や成果指標が計画 ( 目標値 ) に届きませんでした。</p> <p>後援等名義使用承認や指導者保険は、所属団体等が活動を一時的に休止するケースが見られました。後援名義使用承認では、安全対策の相談・指導など、再開に必要な支援を進めます。</p> <p>大学連携は、リモート授業が増えるなど、学生の活動や生活様式が従来とは異なってきていることから、協議会を通じて各大学の情報を共有し、今後の連携について検討していきます。</p> <p>名寄自然体験交流事業は、派遣児童数を減らすなど様々な安全対策を取って事業を実施しました。また、事前学習会や成果発表会も工夫をしながら行いました。</p>

## 令和 4年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>新型コロナウイルス感染症の影響が、どの程度の期間続くかは不明ですが、各事業の活動状況の変化に対応できるように、現状予算で事業を継続します。</p> <p>指導者傷害保険は、新型コロナウイルス感染症により一部で活動を休止している団体もあり、指導者数は微減傾向です。一方、加入団体の会員数は増加していることから、現状予算で動向を見守りたいと考えています。</p> <p>大学連携は、各大学の状況や学生生活、学習環境の情報を共有して事業内容を判断していきます。</p> <p>名寄自然体験交流事業は、学校や児童の活動状況や生活環境等を見ながらの判断となりますが、様々な工夫と対策で現状規模の事業を予定しています。</p>	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00520 )

事務事業名称	学校開放施設の団体・区民利用等			款	07	項	04	目	01	事業	004	整理番号	525
現担当課名	学校支援課		係名	学校開放担当係			連絡先電話番号	1646		昨年度整理番号	529		
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和58年度												
令和 2年度担当課名	学校支援課							事業評価区分	一般				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区内在住・在勤・在学者	根拠法令等	( 1 ) 社会教育法第44、45、47、48条 ( 2 ) スポーツ振興法第13条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	学校施設を区民のスポーツ・文化活動や遊び、憩いの場として有効に活用するとともに、区民の自主的活動を支援し、学校を中心とした地域のコミュニティ意識の高揚を図る。	活動指標	学校開放延開放回数(遊びと憩いの場・登録団体・プール)
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	「遊びと憩いの場」として、一部の小学校の校庭を、水、土、日曜日、祝日、学校休業日(年末年始を除く。)の決められた時間に、児童及び幼児、高齢者に開放する。 スポーツ・文化活動の場として、児童及び生徒が使用していない時間に、小・中学校の校庭(杉十小学校を除く。)・体育館・教室を、登録した団体に開放する。 身近に利用できる遊泳場として、一部の小・中学校のプールを夏休みの一定期間に開放する。	指標名 ( 1 )	学校開放登録者総数
		指標説明	
		成果指標	遊びと憩いの場延べ利用者数
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	登録団体延べ利用者数
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 回	34,189	37,550	30,275	30,000	19,549	30,000	65.2	67.8
活動指標 ( 2 )	2 人	15,197	17,000	15,176	17,000	15,215	23,000	89.5	
成果指標 ( 1 )	3 人	96,307	132,500	77,802	77,000	54,469	77,000	70.7	
成果指標 ( 2 )	4 人	807,106	800,000	700,550	700,000	463,586	700,000	66.2	
事業費	5 千円	83,082	92,347	80,245	96,350	65,341	112,856	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	234	726	84	0	0	0	令和 2年度は、コロナウイルス感染症による緊急事態宣言期間中の事業休止期間や開放時間の短縮による執行率の減となりました。	
(内) 委託費	7 千円	30,118	33,387	30,832	35,088	24,649	49,702		
職員数	8 人	3.14	4.00	3.84	4.00	4.43	4.00		
上記以外の職員	9 人	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	10 千円	26,458	33,704	33,477	30,652	33,642	30,417		
上記以外の職員	11 千円	3,089	3,089	3,080	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	112,629	129,140	116,802	127,002	98,983	143,273		
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	3,287	3,420	3,855	4,233	5,063	4,776		
財源	受益者負担分	14 千円	14,870	14,640	14,000	9,434	14,520		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	1,097	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	14,870	14,640	14,198	14,000	10,531	14,520	
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	97,759	114,500	102,604	113,002	88,452	128,753		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	13.2	11.3	12.2	11.0	9.5	10.1		

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 2年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 525

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
	学校開放指導員謝礼の支出		30	校
	学校開放に伴う光熱水費の支出	63	校	20,407
	プール開放運営委託	6	校	12,463
	学校施設維持管理			16,600
	その他 ( 備品購入費・補助金ほか )			5,493

事業実績

令和2年度の緊急事態宣言期間中の学校開放事業は、新型コロナウイルス感染症対策として、使用制限を行った上で実施しました。  
また、夏季休業期間中の学校開放プールでは、消毒や入場制限を行った上で、合計6校の小・中学校にて実施し、述べ2,848名の利用がありました。

## 令和 2年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	<p>学校開放が現在とほぼ同様の仕組みとなったのは、昭和61年度からです。当時と比べ、小学生の放課後等居場所事業など、学校を活用する事業が増えています。また、区民のスポーツ・文化活動も活発化していることから、その受け皿として、学校開放の役割は増々重要なものとなっており、利用機会の更なる確保が求められています。施設面では体育館へ空調設備が順次設置されていることも踏まえ、使用料の見直しが行われました。</p> <p>【近年の使用料見直し内容】 平成27年1月から登録団体 ( 少年団体を除く ) の使用料を有料化 令和2年6月から空調設備が設置されている体育館の使用料を新設 ( 未設置 : 500円、設置 : 600円 )</p>
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	<p>放課後等居場所事業の計画的な拡充に伴い、当該実施校の「遊びと憩いの場」事業を終了することから、本事業は段階的に縮小していきます。</p> <p>団体開放では、新規団体の使用希望に叶わない学校が増えている状況から、「利用枠」の設定や体育館の半面使用などにより、利用の機会の増を図ります。</p>
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	<p>小学生の放課後等居場所事業の拡充に伴い「遊びと憩いの場」開放の実施校は減少したため、延べ利用者数も減少しています。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全体的に利用が減少しています。</p>
評価と課題	<p>新型コロナウイルス感染症対策として、開放の休止や時短、使用した場所や備品の消毒の励行に伴う消耗品の配布を行いました。今後は、消毒用品の購入にあたり、各校の実状を踏まえて行っていきます。また、緊急事態宣言期間中の事業休止期間や開放時間の短縮により、各事業の利用が減となりました。</p> <p>学校施設の有効利用に関しては、利用機会の拡大に向けて、利用時間枠の固定化や、改築校の屋内運動場における半面使用の実施に向けた準備を進めていく必要があります。</p>

## 令和 4年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 ) ・実施主体の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>新たに改築された学校施設や空調が完備された屋内運動場を中心に、区民のスポーツ・文化活動の受け皿の確保、利用の拡大に向けた取組を進めます。</p>	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00521 )

事務事業名称	文化財調査・保護	款	07	項	04	目	01	事業	005	整理番号	526
現担当課名	生涯学習推進課	係名	文化財係					連絡先電話番号	1666	昨年度整理番号	530
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり						予算事業区分	既定事業			
事業開始	昭和57年度										
令和 2年度担当課名	生涯学習推進課								事業評価区分	一般	

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区内所在の文化財 区指定登録文化財の所有者・保持者等及び区民一般	根拠法令等 ( 1 ) 文化財保護法 ( 2 ) 杉並区文化財保護条例
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	区内の文化財を保護する。 文化財所有者及び区民が文化財を理解し、これを保存・活用できる。	活動指標 指標名 ( 1 ) 埋蔵文化財窓口照会件数 指標説明 指標名 ( 2 ) 杉並区文化財指定登録総件数 指標説明
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	文化財調査を進め、必要と認めたものを登録文化財とし、重要なものを指定文化財として保存、刊行物や案内標示板等を媒体として、情報を提供、区内団体などと協働し、文化財の公開や文化財保護思想の普及を図る。 埋蔵文化財の適切な保護・保存を図り、活用に関する発掘調査を実施する。 国の史跡指定を受けた荻外荘の歴史的価値を限定公開や講演会開催等で広く区民等に周知する。近衛文麿関係資料等の定期的な調査を継続実施する。	成果指標 指標名 ( 1 ) 埋蔵文化財調査延べ日数 指標説明 指標名 ( 2 ) 杉並区文化財保護奨励金の交付件数 指標説明

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 件	2,817	3,000	4,182	3,500	3,464	3,500	99.0	86.4	
活動指標 ( 2 )	2 件	147	148	149	150	150	151	100.0		
成果指標 ( 1 )	3 日	324	250	330	320	268	300	83.8		
成果指標 ( 2 )	4 件	117	117	115	115	112	112	97.4		
事業費	5 千円	19,505	11,859	10,846	20,500	17,703	12,435	特記事項		
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	92	0	0	0	阿佐ヶ谷駅北東地区の試掘調査委託費により、令和2年度予算増となりましたが、土地所有者の都合により調査面積が減少したため、約263万円の残額が生じました。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、共催事業の郷土芸能大会や郷土史会の史跡散歩が中止となったため、補助金の43万円が残額となりました。		
( 内 ) 委託費	7 千円	13,000	4,667	4,248	12,466	11,082	5,211			
職員数	8 人	3.06	3.00	3.05	3.00	3.11	3.00			
上記以外の職員	9 人	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00			
人件費	10 千円	21,632	21,286	22,243	21,934	22,669	21,914			
上記以外の職員	11 千円	15,445	15,445	15,400	15,400	18,140	18,140			
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	56,582	48,590	48,489	57,834	58,512	52,489			
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	20,086	16,197	11,573	16,524	16,891	14,997			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0			
	国からの補助金等	15 千円	1,650	2,000	1,805	4,424	3,864			1,700
	都からの補助金等	16 千円	825	1,000	902	2,212	1,932			850
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	2,475	3,000	2,707	6,636	5,796	2,550		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	54,107	45,590	45,782	51,198	52,716	49,939			
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 2年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 526

	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
主な取組	埋蔵文化財調査委託	4	件	9,264
	指定登録文化財保護奨励	112	件	1,740
	文化財案内標示板等作成・修理	9	基	1,298
	指定候補等調査委託	1	件	200
	その他 ( 文化財保護審議会の運営、文化財ボランティア活動、刊行物発行他 )			5,201
事業実績	<p>荻外荘については、政策経営部門・都市整備部門と協力し、( 仮称 ) 荻外荘公園復原のための整備基本設計を策定し、実施設計策定に向けた取組を進めました。陽明文庫所蔵近衛文麿関係資料の調査を陽明文庫と共同で計3回実施し、陽明文庫の協力を得て、「近衛文麿内閣関係者が語る 諸家追憶談」を刊行しました。</p> <p>「須田家文書」9833点を区有形文化財 ( 古文書 ) に追加指定し、「柏屋七兵衛干菓子製造道具」109点を区有形民俗文化財に新規指定しました。</p>			

## 令和 2年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	<p>文化財散歩等を趣味にする方の声に応えるために昭和58年から発行している「杉並区史跡散歩地図」は好評です。また、経年劣化している文化財案内標示板の建て替えが定期的に一定数必要となっています。</p> <p>文化財に対する興味・関心は高く、文化財部門に対する要望も多様化・複雑化し、文化財の利活用も求められています。</p> <p>また、日本政治史上重要な場所として平成28年3月国の史跡に指定された荻外荘の復原整備に向け、実施設計を令和3年度に策定します。</p>
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	<p>荻外荘の復原整備については、令和3年度中に実施設計を作成、令和4年6月に工事着手、令和6年10月に工事完了し、12月に一般公開する予定です。この計画を円滑に進めるために、荻外荘や近衛文麿関係資料調査を継続するとともに、広く区民等に周知します。</p> <p>文化財指定・登録については、郷土博物館に寄贈される資料が近年増加傾向にあり、その中から指定・登録候補を提案していきます。</p>
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	<p>埋蔵文化財の窓口照会件数は、経済状況等に左右され、窓口照会件数に比例して調査延べ日数も変化します。調査延べ日数については、荻外荘の遺構調査や杉並第二小学校等の本調査があったものの新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和元年度より減少しました。</p> <p>文化財の指定登録総件数については、1年に1件以上の指定登録を目標にしていますが、令和2年度は2件指定することができました。</p>
評価と課題	<p>文化財保護法により、埋蔵文化財の保管が義務付けられており、施設再編による学校建設のような大規模な本調査が生じると、大量の埋蔵文化財が発生し、新たな保管場所の確保が必要になるため、安定的な保管場所の確保に向けた検討を行っていきます。</p> <p>また、文化財保護法の改正に伴う「杉並区文化財保存活用地域計画」の策定について、東京都の動向を注視し検討を進めていくとともに、文化財保護ボランティア講座を設け新規にボランティアを育成していきます。</p> <p>荻外荘については、引き続き政策経営部門・都市整備部門と連携し、復原整備に向けた取組を推進するとともに、機運醸成を図ります。</p>

## 令和 4年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	<p>荻外荘の保存・整備・活用について、政策経営部門・都市整備部門と連携を強化し、文化財部門として、東京都・文化庁と調整し、現状変更手続を円滑に進めます。また、令和4年度から予定されている復原工事の着工に備え、情報収集・提供に努めます。</p> <p>文化財保護ボランティアについては、継続的に活動を進めていけるよう、研修会の実施や情報提供、活動の機会の提供を行うとともに、新たな人材の育成のための講座を設けます。</p>	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00523 )

事務事業名称	社会参加支援	款	07	項	04	目	01	事業	007	整理番号	528	
現担当課名	生涯学習推進課	係名	社会教育センター			連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	532		
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり						予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和44年度											
令和 2年度担当課名	生涯学習推進課						事業評価区分	一般				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	義務教育終了後の知的障害者 区内在住、在勤、在学の外国人	根拠法令等 ( 1 ) 社会教育法第3、5条 ( 2 ) 杉並区済美日曜教室実施要綱、にほんご教室分担金支給要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	障害を持った方や日本語の習得が必要な外国人等が、自立して社会参加できるようにする。	活動指標 指標名 ( 1 ) 済美日曜教室延べ参加者数 指標説明 指標名 ( 2 ) にほんご教室延べ参加者数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	済美日曜教室 教養講座や近郊へ出かける社会見学等の体験学習を実施する。 にほんご教室 区内団体と共催し、講座を実施する。	成果指標 指標名 ( 1 ) 済美日曜教室参加率 指標説明 指標名 ( 2 ) にほんご教室1回当たりの出席者数 指標説明 にほんご教室延べ参加者数 ÷ 実施回数

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 人	910	900	910	900	0	200	0.0	21.9
活動指標 ( 2 )	2 人	1,352	1,800	1,171	1,800	228	700	12.7	
成果指標 ( 1 )	3 %	65.0	70	67.4	70	0.0	70	0.0	
成果指標 ( 2 )	4 人	21	30	21	30	11	13	36.7	
事業費	5 千円	4,779	6,130	5,049	1,519	333	0	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	済美日曜教室において、謝礼金、委託料、旅費、使用料及び賃料の予算額に減額補正を行ったこと、にほんご教室において、委託料と負担金の予算額に減額補正を行ったことにより、事業費が前年度から約75%の減となりました。  新型コロナウイルス感染症対策による済美日曜教室中止に伴う保険料ほか残、需用費、謝礼金の執行残があったこと、にほんご教室回数減に伴う役務費の残、にほんご教室託児中止に伴う委託料の執行残が生じたことにより、予算執行率90%を下回りました。  令和3年度は、事務事業名称「社会教育事業の運営」に統合しました。	
(内) 委託費	7 千円	525	1,275	1,189	429	140	0		
職員数	8 人	1.60	1.30	1.60	1.10	1.10	1.00		
上記以外の職員	9 人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00		
人件費	10 千円	13,482	10,954	13,949	9,590	9,353	8,503		
上記以外の職員	11 千円	3,089	3,089	3,080	3,080	3,628	3,628		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	21,350	20,173	22,078	14,189	13,314	12,131		
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	23,462	22,414	24,262	15,766	0	60,655		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	21,350	20,173	22,078	14,189	13,314	12,131		
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 528

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	済美日曜教室通信の発行	3	回	233
	にほんご教室の開催	21	回	100
	その他（ ）			
事業実績	<p>済美日曜教室は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対面での実施を中止しました。代替としてボランティアからのメッセージや参加者の声を掲載した「済美日曜教室通信」（1～3号）を発行することで、参加者間のつながりを継続しました。にほんご教室においても、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、規模を縮小しオンライン講座を実施しました。1月から3月までの実施期間で、19人の外国人が参加しました。</p>			

## 令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>済美日曜教室は青年学級振興法の下、済美青年学級として昭和44年に開始しました。平成12年、根拠法令廃止により、名称を変更して知的障害者の学習・余暇事業として継続しています。年々障害の程度が重い方や重複障害の方が増加しており、また高齢化も進行しています。にほんご教室は外国人が日本語を基礎から学ぶ学習の場として平成3年度に開始し、現在は区の共催事業として実施しています。国際化が進む中、多様な対象への学びの機会が必要となっています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>共生社会の実現に向けて、障害のある方や日本語を母語としない方を対象に、地域参加のための学習機会を提供していきます。済美日曜教室では、ボランティアの減少により参加者へ充分な対応ができないことが課題となっており、運営方法の見直しが必要となっています。にほんご教室は、社会教育センターの施設改修、新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえ、日本語を母国語としない区内小中学生の保護者など、教育委員会として支援が必要な対象者に学びの場を提供できるよう、運営を検討します。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>新型コロナウイルス感染症対策により、各事業の実績が減少しています。済美日曜教室では対面での実施を行っていないため、実績がありません。代替として、事業実績にも記載した「済美日曜教室通信」を3回発行しました。にほんご教室は会場に集まる講座を一時中止し、1月に降にオンラインを用いた開催に切り替えたことから、実施回数が減少しました。また、新型コロナウイルス感染症に関する水際対策の強化に係る入国制限措置の影響もあり、受講者が減少しました。</p>
評価と課題	<p>新型コロナウイルス感染拡大対策により、済美日曜教室では実施を中止し、にほんご教室では事業の縮小を行いました。社会参加支援事業は、対象に合わせて学習活動を細やかに支えることが必要であるため、運営に当たっては専門的知識やノウハウを有するボランティアや団体の協力が不可欠です。済美日曜教室の課題の一つにボランティアの高齢化と人数の減少が挙げられますが、新型コロナウイルス感染症の影響による高齢ボランティアからの活動辞退の申し出が生じており、さらなる人数減少が予測されます。今後はボランティアにのみ依存する体制の見直しなど、安定した運営への対応を行います。にほんご教室では、社会教育センターの改修と新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえた上で、必要な対象者や実施方法の見直しを検討していきます。</p>

## 令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>新型コロナウイルス感染症による社会情勢を見据えながら、実施方法、回数、対象者を検討していきます。済美日曜教室は改修工事前と同様に、済美養護学校で実施しますが、セッション杉並で実施していた特別講座「済美文化の日」についても、済美養護学校にて実施が可能となるよう調整していきます。</p>	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00524 )

事務事業名称	社会教育センター運営			款	07	項	04	目	01	事業	008	整理番号	529
現担当課名	生涯学習推進課		係名	社会教育センター			連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	533		
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成元年度												
令和 2年度担当課名	生涯学習推進課							事業評価区分	一般				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	一般区民、自主活動団体、企業	根拠法令等	( 1 ) ( 2 )	杉並区立社会教育センター条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区内の社会教育活動の拠点として、広く区民等の利用拡大に努める。 区民や団体が、身近な地域で、生涯を通じて社会とのつながりを持ち続け、自発的な学習活動の実践につながるように、その活動を支援する。	活動指標	指標名 ( 1 )	施設利用回数
		指標説明	指標名 ( 2 )	社会教育に関する会議の人数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	施設の予約について、公共施設予約システム (インターネット、窓口を設置されているタッチパネル式パソコン、携帯電話のインターネットによる方法) で受け付ける。 社会教育に関心のある区民の参画を得て事業を推進する方策について、協議・実践・調査・研究等を行う。 地域における区民の自発的な各種学習活動を支援する。	指標説明	成果指標	稼働率
			指標名 ( 1 )	施設利用回数 ÷ 施設利用可能回数
			指標名 ( 2 )	社会教育に関する会議への出席率
			指標説明	出席者の延べ人数 ÷ ( 社会教育に関する会議の人数 × 会議開催数 )

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
			実績	計画	実績	計画 (目標値)			
活動指標 ( 1 )	1 回	5,210	5,500	4,805	5,000	2,390	0	47.8	64.7
活動指標 ( 2 )	2 人	46	20	0	20	0	20	0.0	
成果指標 ( 1 )	3 %	48	50	44	45	22	0	48.9	
成果指標 ( 2 )	4 %	57	80	0	80	0	80	0.0	
事業費	5 千円	6,593	6,781	6,183	6,786	4,391	0	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	237	0	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による閉館時間の縮小や休館に伴う利用率の低下から、消耗品の購入及び修繕の必要箇所が抑えられたため、予算執行残となっています。 活動指標 ( 1 ) と成果指標 ( 1 ) の計画 (目標値) 0 は施設休館のため、成果指標 ( 2 ) の実績値 0 は新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う開催中止によります。 令和 3年度は、事務事業名称「社会教育事業の運営」に統合しました。	
(内) 委託費	7 千円	485	677	570	1,167	735	0		
職員数	8 人	1.20	1.10	1.10	1.50	1.20	1.20		
	9 人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10		
人件費	10 千円	10,111	9,269	9,590	11,389	8,765	8,765		
	11 千円	309	309	308	308	363	363		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	17,013	16,359	16,081	18,483	13,519	9,128		
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	3,265	2,974	3,347	3,697	5,557	0		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	17,013	16,359	16,081	18,483	13,519	9,128		
受益者負担比率 ((14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 529

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	社会教育センターの運営（舞台用品、ピアノ等、利用者物品の保守点検等）	1	所	4,391
	その他（ ）			
事業実績	社会教育資料の軽量化を図るとともに、改修後の区民の学習活動に供するために、旧公民館で行われていた社会教育事業の音声記録及び動画番組を電子化しました。			

## 令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	開館以来、社会教育センターは社会教育活動の拠点として広く区民に利用されています（平成元年度3,663回 平成10年度5,887回 平成20年度5,269回 平成30年度5,210回）。学びを核として地域の課題や活性化等に取り組むことができるよう、引き続き、団体活動を支援することが求められています。
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	長寿社会において、全ての人々が自己実現を果たし、いきいきと生きることができる心豊かな社会をつくりだしていくとともに、ライフステージに即した学びあいや学び直しができる生涯学習社会への要望が高まると予測されます。社会教育センター改修後も、区の社会教育の拠点として、区民に学びの機会と場を提供し、様々な関係機関等との連携に取り組んでいきます。
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	新型コロナウイルス感染症拡大のため、施設の臨時休館及び運営時間短縮措置により、施設利用回数及び稼働率は前年度の実績を下回りました。
評価と課題	新型コロナウイルス感染症拡大のため、緊急事態宣言期間やまん延防止等重点措置適用期間においては、臨時休館や利用時間を短縮しての開館となりましたが、施設開館中は、適切な感染防止対策を講じた施設運営を行いました。社会教育センターの改修については、併設する高円寺地域区民センターとともに導入を決定した指定管理者制度の準備と、改修工事に伴う事務室仮移転の準備を進めています。

## 令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	縮小
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	社会教育センターの改修工事に入り施設が利用できないため、施設運営に係る経費を縮小し、仮移転先の事務室に係る需用費等を計上します。	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00525 )

事務事業名称	社会教育団体協働事業			款	07	項	04	目	01	事業	009	整理番号	530
現担当課名	生涯学習推進課		係名	社会教育センター			連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	534		
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和26年度												
令和 2年度担当課名	生涯学習推進課							事業評価区分	一般				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区内在住・在勤・在学者 各種社会教育団体	根拠法令等	( 1 ) 社会教育法第3、5条、13条 ( 2 ) 大学公開講座実施要綱、杉並区文化団体連合会補助金交付要綱 等
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区民や関係団体と事業を共催することにより、区民の生涯学習や文化・芸術活動の参加の機会を提供するとともに、関係団体の活動を活性化する。	活動指標	講座回数 (大学公開講座、ユネスコ活動)
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	杉並区文化団体連合会と共催で総合文化祭を実施する。 区内所在の大学と共催し公開講座を実施する。 杉並ユネスコ協会と共催等により、国際理解を深め平和の推進を図る事業を実施する。 社会教育活性化支援プログラムを実施する。	指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	
		成果指標	総合文化祭の延べ来場者数
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	総視聴回数・受講者数
		指標説明	大学公開講座、ユネスコ活動

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 回	71	65	61	65	12	51	18.5	48.2
活動指標 ( 2 )	2								
成果指標 ( 1 )	3 人	14,092	16,000	12,974	16,000	0	0	0.0	
成果指標 ( 2 )	4 人	3,322	3,000	3,112	3,000	792	2,000	26.4	
事業費	5 千円	6,426	7,323	6,685	2,030	979	0	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	実績に基づく分担金残により、予算執行残となっています。 成果指標 ( 1 ) については、総合文化祭が延期になったため、計画 (目標値) は、0です。 成果指標 ( 2 ) については、オンライン形式の講座が開催されたことに伴い、受講者数から総視聴回数と受講者数の計に修正しました。 令和 3年度は、事務事業名称「社会教育事業の運営」に統合しました。	
(内) 委託費	7 千円	10	5	5	0	0	0		
職員数	8 人	1.55	1.30	1.65	1.40	1.40	1.40		
上記以外の職員	9 人	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	1.10		
人件費	10 千円	13,060	10,954	14,385	12,205	11,904	11,904		
上記以外の職員	11 千円	2,780	2,780	2,772	2,772	3,265	3,991		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	22,266	21,057	23,842	17,007	16,148	15,895		
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	313,606	323,954	390,852	261,646	1,345,667	311,667		
財源	14 千円	0	0	0	0	0	0		
国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	22,266	21,057	23,842	17,007	16,148	15,895		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 2年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 530

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )	
	大学公開講座共催分担金の支出		1	団体	150
	文化団体連合会補助金の支出		1	団体	350
	ユネスコ活動分担金の支出		1	団体	479
	その他 ( )				
事業実績	関係団体の自主性を尊重しながら、オンライン形式での開催や新型コロナウイルス感染症対策を行うつつ、可能な方法で生涯学習や文化・芸術活動を促進しました。				

## 令和 2年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	杉並区総合文化祭は昭和26年度に4団体で第1回目を開催し、令和2年度は26団体で第70回記念事業を実施予定でしたが、延期となりました。区内大学公開講座は、昭和60年度に4大学でスタートし、平成5年度に5大学、平成13年度に6大学、令和元年度に5大学となりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、令和2年度は1大学が実施しました。杉並ユネスコ協会は昭和26年9月の設立以降、区と協働を続け、令和2年9月で70周年を迎えました。社会教育活性化支援プログラムは、平成25～26年度文部科学省「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」採択をきっかけに、平成27年度から開始しました。実施した事業はいずれも団体の創意工夫により参加者の好評を得ています。
事業の今後 ( 3～5年 ) の予測と方向性	人生100年時代に、生涯にわたる地域での豊かな学習活動はより一層大きな意義を持つことが予測されます。新型コロナウイルス感染症の状況や区民ニーズを見据え、関係団体と協働事業を実施することで、区民の新たな学びの機会や場を提供していきます。
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	成果指標(1)については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、総合文化祭は、セッション杉並改修工事終了後に延期となり、実施しませんでした。 成果指標(2)については、新型コロナウイルス感染症拡大のため、講座の中止や縮小により、総視聴回数・受講者数が減数しました。
評価と課題	各団体と協働し、新型コロナウイルス感染症対策を実施した学びの機会と場を提供することができました。各団体の特徴や強みを生かした、多くの世代の区民が参加できる、安全安心な事業の実施を促すことで、生涯学習の場や機会を充実させます。

## 令和 4年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	縮小
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	総合文化祭は、社会教育センター改修工事終了後に延期となりました。ユネスコ活動は、団体と会場や規模を調整し、負担金を計上します。大学公開講座と社会教育活性化支援プログラムは、区民ニーズに応えた新たな事業の実施を計画し、負担金等を計上します。	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00526 )

事務事業名称	成人学習支援	款	07	項	04	目	01	事業	010	整理番号	531
現担当課名	生涯学習推進課	係名	社会教育センター				連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	535
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり						予算事業区分	既定事業			
事業開始	平成元年度										
令和 2年度担当課名	生涯学習推進課						事業評価区分	一般			

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象 一般区民	根拠法令等 ( 1 ) 社会教育法第3、5条 ( 2 ) 杉並区立社会教育センター条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民が、自らの関心に基づき身近な地域で学び合い、それぞれの持ち味を大切にしながら、学んだ成果を地域づくりに生かせるようにする。	活動指標 指標名 ( 1 ) すぎなみ大人塾 ( 3コース等 ) 延べ参加者数 指標説明 指標名 ( 2 ) 区民企画講座実施講座数 指標説明
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段) 区民が、地域に関心を持てたり、新しい人とのつながりを育むことができるような講座を開催する。講座の企画づくりにあたっては、区民の参画を得ることで、その過程においても、地域課題の区民との共有や区民自身のコーディネート力を向上する。	成果指標 指標名 ( 1 ) 大人塾の年間講座出席率 指標説明 大人塾年間出席者実数 ÷ 年間大人塾参加者延べ数 指標名 ( 2 ) 地域との協働による区民企画講座の実施率 指標説明 地域との協働による講座実施数 ÷ 実施講座全数

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 人	1,241	1,200	1,337	1,200	158	410	13.2	55.4
活動指標 ( 2 )	2 講座	3	3	2	3	2	3	66.7	
成果指標 ( 1 )	3 %	68	65	69	65	77	65	118.5	
成果指標 ( 2 )	4 %	67	60	67	60	67	67	111.7	
事業費	5 千円	3,161	3,784	3,397	2,926	1,620	0	特記事項 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により講座内容の変更、中止があり、予算執行残となりました。	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0		
(内) 委託費	7 千円	320	412	288	439	185	0		
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	2.10	1.80	2.10	1.90	1.90	1.80	令和3年度から「社会教育事業運営」に一本化となります。
	上記以外の職員	9 人	1.90	1.90	1.90	1.90	1.90	2.00	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	17,695	15,167	18,308	16,564	16,156	15,305	
	上記以外の職員	11 千円	5,869	5,869	5,852	5,852	6,893	7,256	
総事業費 (5+10+11)	12 千円	26,725	24,820	27,557	25,342	24,669	22,561		
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	21,535	20,683	20,611	21,118	156,133	55,027		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0	
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0	
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	26,725	24,820	27,557	25,342	24,669	22,561		
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 531

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	すぎなみ大人塾の開催	3	講座	1,403
	区民企画講座の開催	2	講座	217
	その他（ ）			
事業実績	<p>すぎなみ大人塾は新型コロナウイルス感染症の影響で、事業の中止、変更がありました。総合コースは、オンライン講座として単発開催、地域コース2講座（荻窪・方南和泉）は、感染症対策をとり対面開催としましたが、終盤は緊急事態宣言発出により中止となりました。</p> <p>区民企画講座では、区内教育関係者等と協力し、延べ6名の大学生の参加を得て、身近な地域で魅力的な生き方をしている大人を取材し、幅広い世代に手に取ってもらえる小冊子にまとめ全2号各1,000部発行しました。</p>			

## 令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>区民意向調査において「ボランティア活動経験」がある割合は、平成18年度22.0%、平成22年度22.6%、平成27年度24.7%、令和元年度24.9%と増加しています。また「取り組んでいる社会活動参加状況」のうち「社会貢献・社会参加活動」の割合は、平成18年度4.3%、平成22年度5.2%、平成27年度4.8%、令和元年度5.8%と、5%前後を推移しています。そうした地域状況のなか、講座参加者からは「地域活動に参加するきっかけとなった」「地域のために自分にできることを実行していきたい」などの感想が寄せられています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>令和4年度～5年度、社会教育センターの改修を予定しています。「人生100年時代」がキーワードとなり学び直しへの関心が広がるとともに、新たな区の基本構想や教育ビジョンの方向性を踏まえながら事業の枠組みを見直し、改修後の社会教育センターにおける成人学習支援事業を再構築していく必要があります。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>すぎなみ大人塾はコースの内容等により出席状況が異なるため、延べ人数に変動があります。特に今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、総合コースは単発講座となり、大人塾まつりの中止や地域コースも終盤の講座が中止となり、参加者数が大きく減少しました。区民企画講座も同じ理由から、事業内容を対面講座から冊子づくりに変更するとともに、回数を減らしました。</p>
評価と課題	<p>成人学習支援では、若者から高齢者まで幅広い年代の区民が、社会的課題やそれぞれの興味関心をもとに、地域との接点をつくりながら他者と学びあう機会を提供することができました。</p> <p>一方、より多くの区民が持ち味を生かしながら学びの成果を地域に還元していけるよう、オンラインツールも活用しつつ、多様な区民の生涯にわたる学びを一層支援していく必要があります。</p> <p>今後の事業の実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を基本に置きながら、大人の学びも止めないよう、実施内容や方法を工夫していく必要があります。</p>

## 令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>社会教育センターの改修工事に入り施設が利用できないため、実施会場と時期や回数を調整します。各事業の規模に応じた謝礼や委託費等を計上します。また、新教育ビジョン及び総合計画の初年度となることから、その方向性を踏まえて、これからの成人学習支援事業を再構築しながら事業運営をしていきます。</p>	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00527 )

事務事業名称	郷土博物館の運営管理			款	07	項	04	目	01	事業	011	整理番号	532
現担当課名	生涯学習推進課		係名	郷土博物館		連絡先電話番号	3317-0841		昨年度整理番号	536			
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成元年度							主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )					
令和 2年度担当課名	生涯学習推進課							事業評価区分	一般				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	一般区民、自主活動団体等	根拠法令等	( 1 ) 博物館法 ( 2 ) 杉並区立郷土博物館条例
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	歴史的・文化的資料の収集保存・調査研究等を行い、展示等の事業を通じて、広く杉並の歴史文化を紹介するとともに、区民の郷土に対する理解と関心ならびに愛着心の向上を図る。	活動指標	企画展・講座・教室等事業実施回数
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	資料の収集・保管、調査・研究、寄贈・寄託を行う。展示、子ども博物館教室、講演会等各種行事を実施する。学校教育等への支援・連携を行う。研究紀要等を発行する。	指標名 ( 1 )	収蔵資料総数
		指標名 ( 2 )	
		成果指標	観覧者数
		指標名 ( 1 )	本館及び分館の観覧者数の合計
		指標名 ( 2 )	アンケート結果
		指標説明	満足を3、普通を2、不満を1とした平均点

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 回	50	50	53	50	29	50	58.0	72.8	
活動指標 ( 2 )	2 点	143,789	144,000	144,017	144,300	146,051	147,000	101.2		
成果指標 ( 1 )	3 人	34,758	35,000	31,953	32,000	23,445	30,000	73.3		
成果指標 ( 2 )	4 点	2.7	3.0	2.7	3.0	2.8	3.0	93.3		
事業費	5 千円	12,601	15,689	12,371	12,724	9,260	12,140	特記事項		
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	391	0	201	0	330	0	新型コロナウイルス感染症の影響により4月、5月の2か月間に渡って臨時休館を余儀なくされたため、計画どおりの受益者負担分を得られませんでした。その後も特別展、企画展をはじめ、各種講座、教室等の開催を中止、縮小したため、執行残を生じました。		
( 内 ) 委託費	7 千円	4,089	5,390	4,085	3,795	2,531	3,315			
職員数	8 人	5.21	5.00	5.15	5.00	6.19	4.00			
上記以外の職員	9 人	12.55	12.00	12.52	12.00	9.00	9.00			
人件費	10 千円	35,915	30,154	31,985	30,930	45,263	26,822			
上記以外の職員	11 千円	38,767	37,068	38,562	36,960	32,652	32,652			
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	87,283	82,911	82,918	80,614	87,175	71,614			
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	1,737,840	1,658,220	1,560,698	1,612,280	2,994,655	1,432,280			
財源	受益者負担分	14 千円	2,609	2,044	1,913	2,212	1,198			2,126
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0			0
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	2,609	2,044	1,913	2,212	1,198	2,126		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	84,674	80,867	81,005	78,402	85,977	69,488			
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	3.0	2.5	2.3	2.7	1.4	3.0			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 2年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 532

	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
主な取組	特別展・企画展・講座・教室等の開催	29	回	6,869
	郷土博物館運営協議会の開催	2	回	207
	博物館事業の運営管理	2	所	2,184
	その他 ( )			
事業実績	<p>新型コロナウイルス感染症拡大により4月、5月の2か月間に渡って臨時休館を余儀なくされました。しかし、これを補うため、休止中の企画展を紹介する映像ソフトを制作し、YouTube(ユーチューブ)にアップロードしました。6月からは感染対策に万全を期して再開しましたが、特別展、企画展をはじめ、各種講座、教室等の開催計画に支障が生じました。特別展は中止しましたが、代わりに開催した「杉並文学館」では、初公開となる井伏鱒二の「コンプラ醤油瓶」の自筆原稿や江戸期のコンプラ醤油瓶の実物を展示するなど内容の充実を図りました。</p>			

## 令和 2年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見(期待・要望・苦情など)	<p>平成元年5月に大宮一丁目に開館しました。 平成19年4月には天沼三丁目に分館が開館しました。 平成27年3月には本館の常設展示をリニューアルしました。 令和元年5月には郷土博物館開館30周年を迎えました。 令和2年10月には本館の新常設展「昭和のくらし」がオープンしたほか、特別展示室のケース照明をLED化しました。</p>
事業の今後(3~5年)の予測と方向性	<p>令和4年には区制施行90周年を迎えます。また、令和6年には荻外荘の復原整備が完了します。郷土博物館の運営においては、こうした歴史的な節目や大きな動きに連動したテーマで調査・研究を行い、タイムリーに展覧会を開催して、区民の興味や関心に応えていくことが求められています。 本館収蔵庫に収容しきれない資料については、旧若杉小学校や済美小学校の余裕教室に収蔵していますが、今後は新たな場所で集約できるよう検討していきます。</p>
計画(目標値)に対する実績(指標の分析等)	<p>企画展・講座・教室等事業実施回数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、29回と目標値の50回には届きませんでした。 収蔵資料総数は、主に歴史資料や文学資料の寄贈により146,051点と目標値の144,300点を大きく超えました。遺品整理などに伴う寄贈の相談が増えています。 観覧者数は、平成28年度から3万人を超えていましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、23,445人と目標値の32,000人を大きく下回りました。 アンケート結果は、満足度に対する質問の回答の平均が3点満点中2.8点と概ね高い評価を受けています。</p>
評価と課題	<p>区民に、杉並の歴史と文化を知る機会の提供と郷土への愛着心を高めてもらうため、様々な博物館活動を行いました。観覧者数は、新型コロナウイルス感染症拡大により4月、5月の2か月間に渡って臨時休館を余儀なくされたことから4年ぶりに3万人を下回りましたが、観覧者からは展示内容等について高い評価を受けています。 今後は、14万点を超えた収蔵資料について、適宜点検及び調査を行い、展示などに有効活用していくことができるよう取り組んでいきます。</p>

## 令和 4年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>新たな指定文化財の紹介や令和4年の区制施行90周年など、向こう5年程度を見通した中期的な特別・企画展プランを策定し、十分な調査・研究期間を確保するとともに、資料の収集と展覧会の開催に必要な予算も確保し、区民の興味や関心に応えていきます。</p>	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00528 )

事務事業名称	図書館運営	款	07	項	04	目	01	事業	012	整理番号	533	
現担当課名	中央図書館	係名	管理係			連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	537		
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり						予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和25年度	実行計画事業	目標	05	施策	29	計画事業	02	主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )			
令和 2年度担当課名	中央図書館						事業評価区分	一般				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	図書館利用者及び団体 ( 学校、保育園、ゆうゆう館など )	根拠法令等	( 1 ) 図書館法 ( 2 ) 子どもの読書活動の推進に関する法律
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	誰もが学び続け、その成果を活かせる地域づくりを進めるため、本と親しめる環境を整備するとともに図書館利用の促進を図ることにより、区民の生涯にわたる学習と自立を支援していく。	活動指標	蔵書数 個人貸出冊数
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	区民の課題解決や生涯学習を支援するため、レファレンスサービスの充実やデータベースの活用などを行う。 図書館システムの運用、インターネットパソコンによる情報発信及び情報提供を行う。 図書館資料の選定、収集、保存及び廃棄を行う。 図書館資料の利用案内を行う。 乳幼児から高齢者まで幅広い世代への読書機会の提供と読書環境の充実を図る。	指標説明	成果指標 指標名 ( 1 ) 蔵書1冊当たりの貸出回転数 指標説明 個人貸出冊数 ÷ 蔵書数 指標名 ( 2 ) 区民1人当たりの年間貸出冊数 指標説明 個人貸出冊数 ÷ 杉並区の人口

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 冊	2,164,880	2,069,000	2,118,447	2,010,000	2,092,868	2,010,000	104.1	96.9
活動指標 ( 2 )	2 冊	4,714,509	4,900,000	4,124,506	4,900,000	3,770,200	4,900,000	76.9	
成果指標 ( 1 )	3 回転	2.18	2.37	1.95	2.44	1.80	2.44	73.8	
成果指標 ( 2 )	4 冊	8.25	8.57	7.16	8.51	6.58	8.52	77.3	
事業費	5 千円	927,545	912,550	895,031	1,160,085	1,123,600	1,084,148	特記事項 委託費が増加したのは3館の業務委託を指定管理に変更したことにより施設管理経費が委託費に含まれたためです。 指定管理館9館 債務負担行為 ( 総額 ) : 2,775,000千円 設定期間 平成28年度～令和2年度 : 宮前、高井戸、成田、阿佐谷図書館 令和元年度～令和2年度 : 永福、方南図書館 令和2年度～令和6年度 : 南荻窪、下井草、今川図書館	
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0		
( 内 ) 委託費	7 千円	689,379	687,642	677,052	868,544	844,578	852,870		
職員数	8 人	83.27	70.00	74.69	69.00	72.07	69.00		
上記以外の職員	9 人	22.00	22.00	15.00	20.00	19.00	19.00		
人件費	10 千円	625,785	525,948	569,913	525,582	547,526	521,997		
上記以外の職員	11 千円	67,958	67,958	46,200	61,600	68,932	68,932		
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	1,621,288	1,506,456	1,511,144	1,747,267	1,740,058	1,675,077		
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	749	728	713	869	831	833		
財源	14 千円	0	0	0	0	0	0		
国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引 : 一般財源 ( 12-18 )	19 千円	1,621,288	1,506,456	1,511,144	1,747,267	1,740,058	1,675,077		
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 2年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 533

	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
主な取組	管理運営 ( 指定管理者 )	9	館	642,328
	図書館サービス業務委託	1	館	57,738
	図書館資料購入・装備	13	館	145,264
	図書館システム管理 ( 図書サービスコーナー等含む )	17	施設	80,368
	その他 ( 情報環境の提供、ブックスタート、子ども読書活動推進ほか )			197,902
事業実績	<p>4月、5月の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための全館休館を経て、感染症防止対策を徹底した上で図書館サービスを再開し、9月には大規模改修工事のため休館していた中央図書館もリニューアルオープンしました。永福図書館は移転先の複合施設での一体的な管理・運営と効率的なサービス提供のため指定管理者を選定しました。また、宮前図書館ほか4つの地域図書館についても令和3年度から管理運営を行う指定管理者を選定しました。</p>			

## 令和 2年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	<p>昭和25年に区内初の区立図書館を設置し、現在は昭和63年の長期計画に定められた14館構想 ( 1地域2館構想 ) に基づく整備を進め、中央図書館を核とした13館で図書館運営を行っています。平成17年度から運営に業務委託や指定管理者制度を段階的に取り入れ、現在は13館中10館が民間事業者による運営 ( 一部業務委託を含む ) となっています。昭和59年度には図書館コンピュータシステムを導入、平成13年度には図書館ホームページを開設し、その後システム更新を行いながら区民が利用しやすい資料の検索・予約・貸出の仕組みづくりを進めています。また、施設の老朽化に伴い中央図書館の大規模改修を行うとともに永福図書館も移転改築により地域施設との複合化を図りました。施設設備の更新にあたっては区民要望を取り入れた読書環境の整備等を行いました。</p>
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	<p>高円寺図書館をはじめとした地域図書館の改築等により、ソフト・ハードの両面から「杉並区立図書館サービス基本方針」に描かれた「学びの場」、「知の共同体」、「楽しい交流空間」という図書館像の実現に向けて、滞在型図書館としての閲覧席の充実、課題解決型図書館としての資料の充実及びICTを活用した図書館サービスの充実等が進みます。令和4年度に改定する「杉並区子ども読書活動推進計画」に基づき、乳幼児から中・高校生まで幅広い世代の図書館利用や読書推進に向けた取組を引き続き学校等の関係機関と連携しながら進めていきます。また、ICTの更なる活用により、サービスと利便性の向上を図るとともに、感染症予防対策として、新しい生活様式に対応したサービスにも取り組んでいきます。</p>
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	<p>国の緊急事態宣言による4月、5月の全館休館、中央図書館の大規模改修工事による休館 ( 4月~8月 )、永福図書館の移転による休館 ( 1月~3月 )、成田図書館の工事休館 ( 11月~2月 ) により、全館の閉館時間が大幅に減少したことから、利用実績は前年度を大きく下回りました。</p> <p>また、蔵書規模の適正化により蔵書数の減を計画的に進めてきましたが、実績数値は前年度よりも減少したものの、目標値を達成することはできませんでした。</p>
評価と課題	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月、5月は図書館全館を休館しました。</p> <p>大規模改修が完了し、9月にリニューアルオープンした中央図書館では、閲覧席を増やし、読書や学習のほか、Wi-FiによるPC利用もできるようにしたことや、中高生世代のための専用スペースを設けたことから、10代から40代の利用者を増やすことができました。また、老朽化した永福図書館は、複合施設への移転改築が完了しました。</p> <p>今後も、安心して図書館を利用いただけるよう感染症予防対策を強化し、各種事業についても定員や事業を工夫することにより実施していくと、新しい生活様式にも対応させながら、図書館サービスの充実を図っていきます。</p>

## 令和 4年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 ) ・対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>蔵書数の適正化を図るとともに、平成25年3月に策定した「杉並区立図書館サービス基本方針」に基づき、図書館運営状況等に係る評価を考慮しながら、時代のニーズを的確に反映した図書館サービスの向上に努めていきます。また、平成28年度に策定した「図書館の電子情報サービスへの対応方針」を踏まえ、引き続きデジタル録音図書 ( D A I S Y ) の充実やデジタルアーカイブ化の推進を図ります。</p> <p>中央図書館が9月にリニューアルオープンし、令和3年度以降は通年で運営されるため、経費の増加が見込まれます。</p>	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00697 )

事務事業名称	次世代型科学教育の推進				款	07	項	04	目	01	事業	014	整理番号	534	
現担当課名	生涯学習推進課		係名	社会教育センター		連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	538					
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成27年度	実行計画事業	目標	05	施策	29	計画事業	04	主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )						
令和 2年度担当課名	生涯学習推進課								事業評価区分	一般					

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区内在住・在学の児童・生徒、一般区民、区内団体	根拠法令等	( 1 ) 教育基本法第12条 ( 2 )
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	広く子どもから大人まで科学に親しみ、科学に関する多様な体験や触れ合う機会を地域に出向いて提供する。交流自治体や区民、NPO、民間事業者等との協働により、相互のつながりやかかわり合いを促進する。ICTやデジタル技術などを活用した次世代型の科学教育を推進する。	活動指標	移動式プラネタリウムの開催日数
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	移動式プラネタリウムの投影や、北海道名寄市との協働で天文台車による観望会を実施する。最新の科学にふれる展示会や、区内の科学教育関係団体・企業・学校等で構成する実行委員会による「サイエンスフェスタ」を開催する。科学に関する講座・講演会や、小中学生を対象にした夏休み科学講座「フューチャーサイエンスクラブ」を実施する。	指標名 ( 1 )	サイエンスフェスタの出展団体数
		指標名 ( 2 )	
		成果指標	移動式プラネタリウムの参加者数
		指標名 ( 1 )	
		指標名 ( 2 )	すぎなみサイエンスフェスタの参加者数
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 日	25	25	24	25	7	15	28.0	30.2
活動指標 ( 2 )	2 団体	29	26	0	26	11	26	42.3	
成果指標 ( 1 )	3 人	3,269	3,200	3,263	3,200	624	1,200	19.5	
成果指標 ( 2 )	4 人	1,624	2,300	0	2,300	2,501	2,300	108.7	
事業費	5 千円	12,198	15,403	11,179	10,716	3,240	14,070	特記事項 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う変更、中止により事業費が執行残となりました。	
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0		
( 内 ) 委託費	7 千円	6,209	8,265	6,854	4,793	1,848	6,354		
職員数	8 人	2.47	2.10	2.50	1.90	1.90	1.50		
上記以外の職員	9 人	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10	1.80		
人件費	10 千円	20,812	17,695	21,795	16,564	16,156	12,755		
上記以外の職員	11 千円	6,487	6,487	6,468	6,468	7,619	6,530		
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	39,497	39,585	39,442	33,748	27,015	33,355		
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	1,579,880	1,583,400	1,643,417	1,349,920	3,859,286	2,223,667		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	500	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	500	0	0	0	0		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	38,997	39,585	39,442	33,748	27,015	33,355		
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 534

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	新たな天文学習事業の実施	624	人	539
	科学博覧会の実施	3,095	人	1,324
	サイエンスコミュニケーション事業の実施	3	回	1,377
	その他（ ）			
事業実績	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、様々な事業が中止や変更となりました。例年実施している名寄市移動天文台車による観望会は中止し、移動式プラネタリウム事業は代替として平面型スクリーンに投影する天文事業を実施しました。科学博覧会は、国立科学博物館等の資料を用いた展示を実施し、サイエンスフェスタはオンラインで開催しました。サイエンスコミュニケーション事業は、フューチャーサイエンスクラブなど会場で行う講座等は中止し、科学冊子を2回発行しました。新たな拠点の整備は、事業者候補者を選定して整備・運営に関する協定書を締結しました。</p>			

## 令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>平成27年度末で杉並区立科学館が閉館しました。科学館が担ってきた科学教育事業のうち、生涯学習分野については社会教育センターに移管しました。移管に伴い、事業の実施にあたっては、地域施設に出向き、区民、NPO、民間事業者等との協働を重視することとしています。また、次世代型科学教育の新たな拠点づくりについては「区立施設再編整備計画」に基づき、旧杉並第四小学校跡地を活用し整備するため、改修等に係る設計を進めています。</p> <p>ワークショップの代替として実施した科学冊子では、「子どもが何回も読み返している」「楽しく読んだ」等の感想がありました。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>次世代型科学教育の新たな拠点については、旧杉並第四小学校の跡地活用の中で整備が進み、次世代型科学教育の新たな拠点等の整備・運営事業者が既存の建物及び敷地を有効活用し、子どもから高齢者まで多世代が集い交流し、地域活動や賑わい創出につながる場として整備を行い、地域に根差した運営を目指しています。</p> <p>次世代型科学教育事業については、拠点整備と連携・調整を図るとともに新型コロナウイルス対策を取り、科学教育関係団体や民間事業者等との協働事業を実施していきます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため移動式プラネタリウムは中止し、代替事業として平面型スクリーンに投影する天文事業を7日実施し、参加者数は624人でした。すぎなみサイエンスフェスタはオンラインでの開催となり、参加団体数は11団体、参加者数（視聴回数）は2,501人（回）でした。</p>
評価と課題	<p>科学教育事業は、身近な地域の施設で科学に触れることができることから、毎年度多くの区民の参加を得ていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の実施回数が大幅に減少しました。今後は実施方法を検討していくとともに、科学教育関係団体とのネットワークなどを生かし、より質の高い内容の事業にしていくことが重要です。また、次世代型科学教育の新たな拠点については、選定した事業者候補者と「次世代型科学教育の新たな拠点等の整備・運営に関する協定」を締結して、開設に向けた協議を進めました。</p>

## 令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>社会教育センターの改修工事に入り事業開催場所が制限されることや、新型コロナウイルス対策を取った事業とするため、実行計画事業を含め、改修期間中の実施会場と規模や期間や実施方法を調整し、委託費や謝礼、負担金等を計上します。</p>	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00529 )

事務事業名称	社会教育センター維持管理			款	07	項	04	目	02	事業	001	整理番号	535
現担当課名	生涯学習推進課		係名	社会教育センター			連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	539		
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成元年度												
令和 2年度担当課名	生涯学習推進課							事業評価区分	施設維持管理				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	社会教育センター利用者	根拠法令等	( 1 ) 社会教育法第3、5条 ( 2 ) 杉並区立社会教育センター条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区民の学習の場として、安全で快適に活動できる施設として良好な環境を維持し利用者に提供する。	活動指標	施設利用回数
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	利用者に対し、社会教育の学習の場を提供するとともに、一般区民の利用施設として快適で安全な環境を図るため、修繕を含めた施設の適正な維持及び管理を行う。	成果指標	
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 回	5,210	5,500	4,805	5,000	2,390	0	47.8	89.6
活動指標 ( 2 )	2								
成果指標 ( 1 )	3								
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	78,816	80,030	73,923	76,033	68,127	37,012	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による閉館時間の縮小や休館に伴う利用率の低下から、消耗品の購入及び修繕の必要箇所、光熱水費が抑えられたため、予算執行残となっています。活動指標 ( 1 ) については、施設の休館のため、計画 (目標値) は、0 です。	
(内) 委託費	7 千円	56,165	54,847	51,040	52,214	52,078	26,467		
職員数	8 人	1.25	1.10	1.10	1.30	0.97	1.10		
	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	10 千円	10,533	9,269	9,590	10,490	7,529	8,635		
	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	89,349	89,299	83,513	86,523	75,656	45,647		
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	17,150	16,236	17,380	17,305	31,655	0		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	89,349	89,299	83,513	86,523	75,656	45,647		
受益者負担比率 ((14)÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 535

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	施設保守管理委託		1	所
	光熱水費の支出	1	所	10,267
	施設維持経費の支出（修繕費、消耗品の購入等）	1	所	1,639
	使用料の償還	26	回	4,143
	その他（ ）			
事業実績	ホール客席張替修繕、屋上ドレンの詰り修理、高圧受電盤電圧切替器交換修理、電気炉電気系回路の緊急修理を実施を行いました。			

## 令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	社会教育センターは大規模改修が予定されていることから、施設の故障については確実に保守保全を行うことで、改修までの間の維持管理経費が最小となるよう工夫してきました。これから大規模改修着工までの期間も新型コロナウイルス感染症のワクチン接種会場として活用されることから、最小の経費で維持を行っていきます。

## 令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	社会教育センターが改修工事に入るため、施設の維持管理に係る経費は削減し、仮移転先の事務室に係る光熱費等を計上します。	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00530 )

事務事業名称	郷土博物館の維持管理			款	07	項	04	目	02	事業	002	整理番号	536
現担当課名	生涯学習推進課		係名	郷土博物館			連絡先電話番号	3317-0841		昨年度整理番号	540		
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成元年度												
令和 2年度担当課名	生涯学習推進課							事業評価区分	施設維持管理				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	博物館利用者	根拠法令等	( 1 ) 博物館法 ( 2 ) 杉並区立郷土博物館条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	歴史・文化資料を適切な状態で保存・展示し、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する。	活動指標	開館日数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	本館、分館、西田小学校郷土資料展示室、松ノ木遺跡、館外収蔵庫4か所の維持管理を行う。	指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	
		成果指標	
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 日	294	294	275	242	244	294	100.8	93.0	
活動指標 ( 2 )	2									
成果指標 ( 1 )	3									
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	36,381	40,041	35,679	48,704	45,283	40,863	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	24,761	27,207	25,416	35,616	33,895	28,495			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	1.07	1.00	1.05	1.00	1.05	1.00		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	9,016	8,426	9,154	8,718	8,928	8,503		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	45,397	48,467	44,833	57,422	54,211	49,366			
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	154,412	164,854	163,029	237,281	222,176	167,912			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	45,397	48,467	44,833	57,422	54,211	49,366			
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 536

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	施設の保守管理委託		2	館
	光熱水費の支出	2	館	7,679
	施設の維持管理	2	館	1,227
	施設の整備	2	館	8,924
	その他（ ）			

事業実績

清掃業務、機械設備保守点検業務、収蔵庫燻蒸作業などを行いました。  
また、井草中継所倉庫整備、西田小郷土資料展示室の移設、西田小収蔵庫資料の移転、高木強剪定、特別展示室照明器具改修なども行いました。

## 令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	<p>学童クラブ待機児童対策として、西田小収蔵庫を廃止し、その資料を旧若杉小収蔵庫に移転しました。合わせて西田小郷土資料展示室も廃止し、昭和のくらしを再現したジオラマを郷土博物館に移設しました。また、富士見丘小・中学校の一体的整備のため、富士見丘中収蔵庫を廃止し、その資料も旧若杉小収蔵庫に移転しました。これらの移転に伴い、井草中継所に新たな収蔵庫を整備しました。</p>

## 令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>本館の自動扉、4か所について、いずれもメーカー規定の耐用年数を超過していることから更新が必要です。本館、分館とも白熱電球や蛍光灯を使用している照明器具について、環境、省エネルギー、紫外線対策、製造中止などからLED化が必要です。</p>	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00531 )

事務事業名称	図書館施設維持管理	款	07	項	04	目	02	事業	003	整理番号	537	
現担当課名	中央図書館	係名	管理係			連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	541		
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり					予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和27年度											
令和 2年度担当課名	中央図書館					事業評価区分	施設維持管理					

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	図書館利用者及び団体(学校、保育園、ゆうゆう館など)	根拠法令等	( 1 ) 図書館法 ( 2 ) 杉並区立図書館条例
事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	図書館利用者等に、安全で快適な施設利用環境を提供する。	活動指標	開館日数(全館累計)
		指標名( 1 )	
		指標説明	
		指標名( 2 )	利用者数(全館累計)
		指標説明	
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	施設の適正な維持管理を行い、図書館利用者等の安全性及び利便性の向上を図る。	成果指標	
		指標名( 1 )	
		指標説明	
		指標名( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率(%)
活動指標( 1 )	1 日	4,379	3,947	3,756	4,056	3,552	4,325	87.6	78.7
活動指標( 2 )	2 人	2,835,118	2,810,000	2,323,830	3,250,000	1,875,460	3,300,000	57.7	
成果指標( 1 )	3								
成果指標( 2 )	4								
事業費	5 千円	154,887	135,673	114,087	151,348	119,113	149,753	特記事項	
(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、4月、5月の間、全館を休館としたために執行残が発生しました。	
(内)委託費	7 千円	90,306	81,026	67,168	80,232	69,179	96,979		
職員数	8 人	4.65	4.00	4.67	4.00	4.68	4.00		
上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		
人件費	10 千円	39,181	33,704	40,713	34,872	39,794	34,012		
上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	3,628		
総事業費(5+10+11)	12 千円	194,068	169,377	154,800	186,220	158,907	187,393		
単位当たりコスト((12-6)÷1)	13 円	44,318	42,913	41,214	45,912	44,737	43,328		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計(14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0	
差引:一般財源(12-18)	19 千円	194,068	169,377	154,800	186,220	158,907	187,393		
受益者負担比率(14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（ 2 ）

## 令和 2年度 事業実施状況（ D o ）

整理番号 537

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	設備保守管理委託	4	館	67,572
	光熱水費の支出	4	館	25,107
	施設修繕・消耗品等購入	4	館	13,079
	その他（賃借料ほか）			13,355
事業実績	<p>中央図書館及び地域図書館における光熱水費の支払い業務のほか、清掃業務委託や警備委託などの施設管理業務、事務機器等の賃借、施設の修繕などを実施しています。なお、中央図書館は元年度は休館していましたが、令和2年9月からリニューアルオープンしました。</p>			

## 令和 2年度 評価と課題（ C h e c k ）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	<p>国の緊急事態宣言を受け、4月、5月に図書館全館を休館したことにより開館時間が減少しました。地域図書館については、緊密な連携を取り施設や設備の現状を把握し、適切な維持管理に努めています。</p> <p>また、老朽化施設の改築・改修については、今後も「実行計画」及び「区立施設再編整備計画」等に基づき、「杉並区立図書館サービス基本方針」等の図書館の計画や方針を踏まえて、計画的に対応していきます。</p>

## 令和 4年度の方針（ A c t i o n ）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容		

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00757 )

事務事業名称	永福図書館の移転改築				款	07	項	04	目	03	事業	004	整理番号	540	
現担当課名	中央図書館		係名	施設整備担当		連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	543					
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり								予算事業区分	投資事業					
事業開始	平成29年度	実行計画事業	目標	05	施策	29	計画事業	03	主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )						
令和 2年度担当課名	中央図書館								事業評価区分	一般					

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	図書館利用者及び団体 ( 学校、保育園、ゆうゆう館など )	根拠法令等	( 1 ) 地方自治法第2条、第232条 ( 2 ) 杉並区立図書館条例第2条、第10条
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	平成29年度に地盤調査・測量、基本設計を行い、その後実施設計に着手する。 平成30年度に永福体育館解体工事と実施設計を行う。 令和元年度に建設工事に着手する。 令和2年度に竣工の後、令和3年度より供用開始。	活動指標	設計進捗率 工事進捗率
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	永福体育館移転後の跡地へ建設する杉並区立永福図書館へ移転・改築する。	指標説明	成果指標 指標名 ( 1 ) 改築工事進捗率 指標説明 基本、実施設計及び改築工事全体を通じた進捗率 指標名 ( 2 ) 指標説明

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 %	30	0	0	0	0	0	0.0	98.1	
活動指標 ( 2 )	2 %	0	50	50	50	50	0	100.0		
成果指標 ( 1 )	3 %	15	25	25	25	25	0	100.0		
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	70,116	227,786	227,562	413,588	405,675	0	特記事項		
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
( 内 ) 委託費	7 千円	69,796	227,636	227,532	377,333	373,106	0			
職員数	常勤職員数 ( 再任用含 )	8 人	1.24	1.00	1.28	1.00	1.46	0.00		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 ( 再任用含 )	10 千円	10,448	8,426	11,159	8,718	12,414	0		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	80,564	236,212	238,721	422,306	418,089	0			
単位当たりコスト ( 12÷1 )	13 円	2,685,467	0	0	0	0	0			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	80,564	236,212	238,721	422,306	418,089	0			
受益者負担比率 ( 14÷12 )	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（ 2 ）

## 令和 2年度 事業実施状況（ D o ）

整理番号 540

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	改築工事			
	工事監理委託			8,732
	建設事務費の支出			7,210
	その他（ 備品購入費等開設準備にかかる経費の支出 ）			32,569
事業実績	「区立施設再編整備計画」に基づき、令和3年4月の開設に向けて、移転先での建設工事を竣工しました。			

## 令和 2年度 評価と課題（ C h e c k ）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	老朽化が進み、施設の更新が広く求められる中、旧永福体育館跡地に建築される複合施設への移転が決まりました。 移転改築に当たっては、移転改築前の永福図書館の蔵書規模や閲覧スペース等の機能を維持するだけでなく、複合する施設との相互利用によるサービスの拡充が求められています。
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	本事業は開設により令和2年度で終了しました。
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	令和3年4月の開設に向け、予定どおり建設工事が進みました。
評価と課題	工事竣工後、令和2年12月から開設に向けて指定管理者との定例会を実施したほか、初度備品の購入など開設準備を進めました。

## 令和 4年度の方針（ A c t i o n ）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	その他・対象外
	II 事業の改善の方向性	対象外
予算の方向性の理由・内容	本事業は開設により令和2年度で終了しました。	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00769 )

事務事業名称	中央図書館の改修				款	07	項	04	目	03	事業	005	整理番号	541	
現担当課名	中央図書館		係名	施設整備担当		連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	544					
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり								予算事業区分	投資事業					
事業開始	平成30年度	実行計画事業	目標	05	施策	29	計画事業	03	主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )						
令和 2年度担当課名	中央図書館								事業評価区分	一般					

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	図書館利用者及び団体 ( 学校、保育園、ゆうゆう館など )	根拠法令等	( 1 ) 地方自治法第2条、第232条 ( 2 ) 杉並区立図書館条例第2条、第10条
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	平成30年度に設計を行う。 令和元年度に改修工事に着手する。 令和2年度に完工ののち供用開始。	活動指標	設計進捗率 工事進捗率
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	中央図書館の大規模改修工事を行う。	指標説明	
		成果指標	改修工事進捗率
		指標説明	設計及び改修工事全体を通じた進捗率
		指標名 ( 1 )	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 %	100	0	0	0	0	0	0.0	98.2	
活動指標 ( 2 )	2 %	0	80	80	20	20	0	100.0		
成果指標 ( 1 )	3 %	50	40	40	10	10	0	100.0		
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	68,530	777,144	700,066	1,137,328	1,117,293	0	特記事項		
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
( 内 ) 委託費	7 千円	68,530	775,190	698,381	1,006,271	987,269	0			
職員数	常勤職員数 ( 再任用含 )	8 人	1.24	1.00	1.28	1.00	1.46	0.00		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 ( 再任用含 )	10 千円	10,448	8,426	11,159	8,718	12,414	0		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	78,978	785,570	711,225	1,146,046	1,129,707	0			
単位当たりコスト ( 12÷1 )	13 円	789,780	0	0	0	0	0			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	78,978	785,570	711,225	1,146,046	1,129,707	0			
受益者負担比率 ( 14÷12 )	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（ 2 ）

## 令和 2年度 事業実施状況（ D o ）

整理番号 541

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	改修工事			
工事監理委託				21,202
施設維持管理				28,266
建設事務費の支出				2,710
	その他（開設準備等）			130,024
事業実績	「区立施設再編整備計画」に基づき、改修の工事計画どおり竣工し、令和2年9月にリニューアルオープンしました。			

## 令和 2年度 評価と課題（ C h e c k ）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	区民意向調査等を通し改修にかかる区民等意見の集約を行い、平成29年度に改修基本計画を策定しました。 平成30年度は改修基本計画に基づいた改修を行うため、プロポーザルにより選定された受託者による設計を行い、令和元年度に工事に着工しました。
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	本事業はリニューアルオープンにより令和2年度で終了しました。
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	改修工事は、計画どおりに進捗しました。。
評価と課題	工事竣工後、開設に向けて初度備品を購入するなど開設準備を進め、令和2年9月に施設利用を再開しました。

## 令和 4年度の方針（ A c t i o n ）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	その他・対象外
	II 事業の改善の方向性	対象外
予算の方向性の理由・内容	本事業はリニューアルオープンにより令和2年度で終了しました。	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00822 )

事務事業名称	高円寺図書館の移転改築			款	07	項	04	目	03	事業	006	整理番号	542	
現担当課名	中央図書館	係名	施設整備担当	連絡先電話番号	4715			昨年度整理番号						
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり							予算事業区分	投資事業					
事業開始	令和 2年度	実行計画事業	目標 05	施策 29	計画事業	03								
令和 2年度担当課名	中央図書館							事業評価区分	一般					

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	図書館利用者及び団体 ( 学校、保育園、ゆうゆう館など )	根拠法令等	( 1 ) 地方自治法第2条、第232条 ( 2 ) 杉並区立図書館条例第2条、第10条
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	令和3年度に基本設計をまとめ、旧杉並第八小学校解体工事と実施設計を行う。 令和4年度に建設工事に着手する。 令和6年度に竣工の後、供用開始する。	活動指標	設計進捗率
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	旧杉並第八小学校の跡地へ建設する ( 仮称 ) 杉並区立高円寺図書館等複合施設内へ移転・改築する。	指標名 ( 1 )	工事進捗率
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	
		成果指標	改築工事進捗率
		指標名 ( 1 )	基本、実施設計及び改築工事全体を通じた進捗率
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1				20	40	60	200.0	76.8	
活動指標 ( 2 )	2				0	0	20	0.0		
成果指標 ( 1 )	3				0	0	40	0.0		
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5	千円			52,465	40,315	27,933	特記事項		
( 内 ) 投資的経費等	6	千円			0	0	0	基本設計業務委託契約が入札の結果、予定価格よりも低く、落札差金が発生したために予算執行率が低くなりました。		
( 内 ) 委託費	7	千円			52,065	40,315	26,130			
職員数	8	人			1.00	1.46	1.00			
上記以外の職員	9	人			0.00	0.00	0.00			
人件費	10	千円			8,718	12,414	8,503			
上記以外の職員	11	千円			0	0	0			
総事業費 ( 5+10+11 )	12	千円			61,183	52,729	36,436			
単位当たりコスト ( 12÷1 )	13	円			3,059,150	1,318,225	607,267			
財源	受益者負担分	14	千円			0	0			0
	国からの補助金等	15	千円			0	0			0
	都からの補助金等	16	千円			0	0	0		
	その他の補助金等	17	千円			0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18	千円			0	0	0		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19	千円			61,183	52,729	36,436			
受益者負担比率 ( 14÷12 )	20	%			0.0	0.0	0.0			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（ 2 ）

## 令和 2年度 事業実施状況（ D o ）

整理番号 542

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	調査及び設計業務委託			3,549
	設計業務委託			36,766
	その他（ ）			
事業実績	「区立施設再編整備計画」に基づき、令和7年3月の開設に向けて、地域住民の方の意見を聴くなど基本設計の策定を進めました。			

## 令和 2年度 評価と課題（ C h e c k ）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	老朽化が進み、施設の更新が広く求められる中、旧杉並第八小学校跡地に建築される複合施設への移転が決まりました。 移転改築に当たっては、現在の高円寺図書館の蔵書規模や閲覧スペース等の機能を維持するだけでなく、複合する施設との相互利用によるサービスの拡充が求められています。
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	令和3年度 旧校舍解体工事 令和3～4年度 実施設計 令和6年度 開設予定
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	現在まで計画目標値に沿った進捗が確保されており、予定に沿った開設が見込まれます。
評価と課題	施設整備に当たっては、高円寺地域における区立集会施設等既存施設の利用状況や地域特性のほか、現在の高円寺図書館の蔵書規模や閲覧スペース等の機能及び令和3年度に開設した複合施設である永福図書館の運営状況も考慮に入れながら、地域の方に親しまれる施設づくりに取り組んでいきます。

## 令和 4年度の方針（ A c t i o n ）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	「杉並区立施設再編整備計画」に基づき、令和7年3月の開設に向けて、実施設計を策定し建設工事に着手します。	